資　料　1

第１回専門部会（まちづくり・防災）
事務局資料①

各部会と対応分野

部会名	対応分野
子ども・福祉	人口/子育て/教育/高齢者/福祉/健康・スポーツ/自治体経営
まちづくり・防災	**人口/防災/治安/交通/公園・緑地/住まい/地域力/DX/自治体経営**
産業・環境	人口/国際都市・多文化共生/産業・経済/観光・文化/環境/自治体経営

各部会と対応分野

会議	時期	内容
専門部会①	8月10日(木)	①　現状と課題について （伸ばすべき強みや特に対応が必要な課題等） ②　上記を踏まえ、重要となる施策やその先の将来像等について検討
専門部会②	8月22日(火)	①　専門部会①とアンケート結果等を踏まえた分野別の目指すべき姿について検討 ②　審議会②に上げる分野別の目指すべき姿について取りまとめ

第１回専門部会　議題

（１）前半分野（防災/治安/公園・緑地/地域力）

・現状と課題について
（伸ばすべき強みや特に対応が必要な課題等）

・重要となる施策やその先の将来像について

（2）後半分野（人口/交通/住まい/DX/自治体経営）

・現状と課題について
（伸ばすべき強みや特に対応が必要な課題等）

・重要となる施策やその先の将来像について

（１）**前半分野**（防災/治安/公園・緑地/地域力）

データブック対応ページ

まちづくり・防災部会　データブック対応ページ

章	分野名	ページ
2章 大田区のこれまで（15年間の変化や区の現状等）	人口	P.8
	防災	P.20
	治安	P.22
	交通	P.24
	公園・緑地	P.26
	住まい	p.28
	地域力	P.30
	DX	P.40
	自治体経営	P.42
	ホットトピック等（羽田空港・羽田イノベーションシティ・新空港線・SDGs）	P.44
3章 大田区のこれから（将来推計等）	人口推計	P.50
	DX	P.54
	地球温暖化	P.56
	地震・水害・噴火等の災害リスク	P.58
	鉄道沿線のまちづくり	P.60
	リニア中央新幹線	P.61
	公共施設・インフラ施設	P.62

章	分野名	ページ
4章 大田区の特徴・強み、現状・課題	大田区ってどんなまち？	P.64
	人口	P.66
	防災	P.69
	治安	P.70
	交通	P.70
	公園・緑地	P.71
	住まい	P.71
	地域力	p.72
	DX	P.74
	自治体経営	P.75

※前半分野（防災/治安/公園・緑地/地域力）
関連ページを色掛け

データブック：P.20

7 防災

あらゆる災害に強いまちづくりが進められてきた結果、新たな首都直下地震の被害想定では、多くの項目で被害が減少している。

■住宅耐震化率は年々増加しており、９割を超えている。目標値のおおむね解消（耐震化率98％）に向け着実に推進している。

■不燃領域率は目標値70％の達成に向け各地域で年々改善が進んでいる。

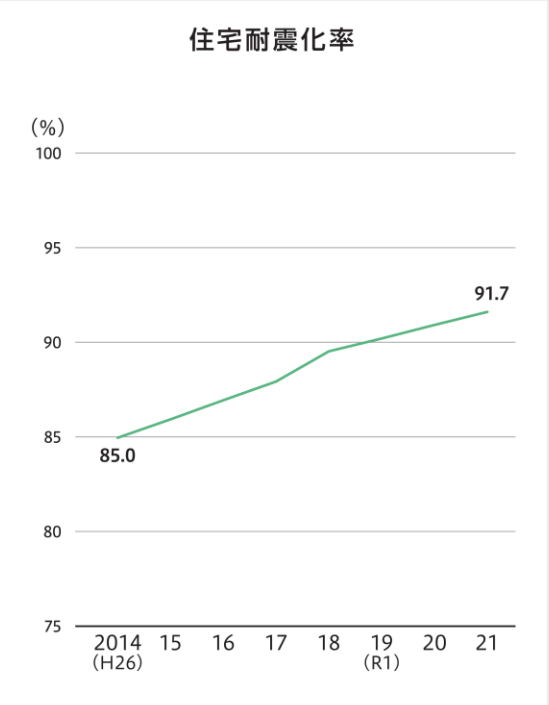
■非常に激しい雨を記録した日数は増加傾向にあり、羽田において50mm以上の降水量を記録した日数は約40年前と比較して約1.5倍に増加している。

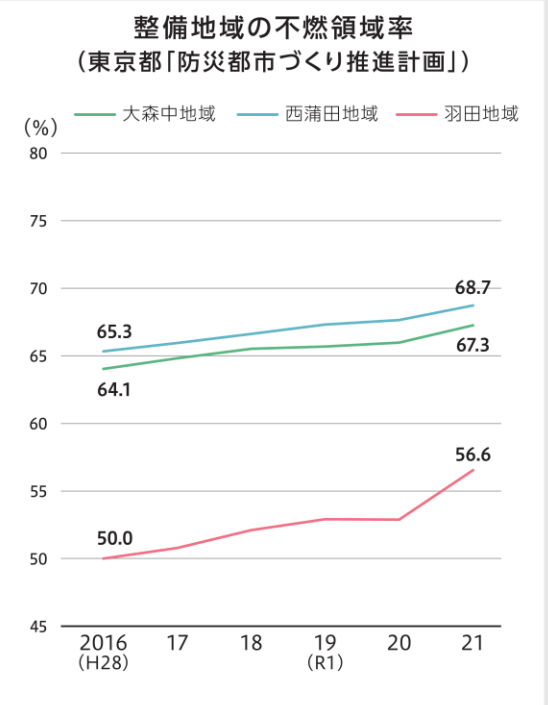
■令和元年台風19号による被害を受け、激甚化する自然災害への迅速な対応を図るため、水防活動の拠点となる施設や設備機器等を新しく整備するなど、水防体制の構築を強化している。

■首都直下地震の被害想定では多くの項目で被害が減少している。

耐震化率は９割を超え、不燃領域率の改善も進んでいる

◎住宅耐震化率は目標値のおおむね解消（耐震化率98％）に向け着実に推進している。
◎不燃領域率は目標値70％の達成に向け各地域で年々改善が進んでいる。

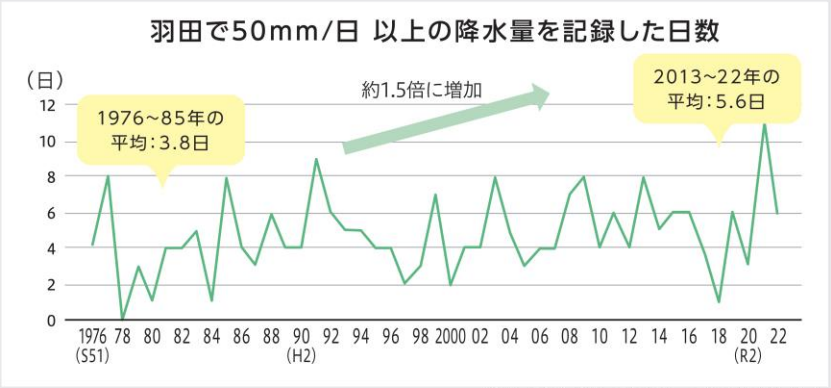




（資料）「大田区耐震改修促進計画」、東京都「防災都市づくり推進計画」を基に作成

非常に激しい雨を記録した日数は増加傾向にある

◎50mm以上の降水量を記録した日数は約40年前と比較して約1.5倍に増加している。



（資料）気象庁「過去の気象データ検索」を基に作成

令和元年台風19号による被害を受けて、水防体制の構築を強化した

◎激甚化する自然災害に対し、迅速な水防活動を実施するため、水防体制の構築強化を図っている。

2019年	令和元年台風19号による田園調布地区の浸水被害
2020年	排水ポンプ車の追加配備、水防資材の拡充
2021年	大田区仲六郷水防資機材センター竣工
2022年	大田区仲六郷水防資機材センター運用開始（2023年に自家用発電機を配備）
2023年	大田区田園調布水防センター竣工・運用開始（自家用発電機を配備）



仲六郷水防資機材センター



田園調布水防センター

（資料）大田区HP「風水害対策」を基に作成

首都直下地震の被害想定では、多くの項目で被害が減少した

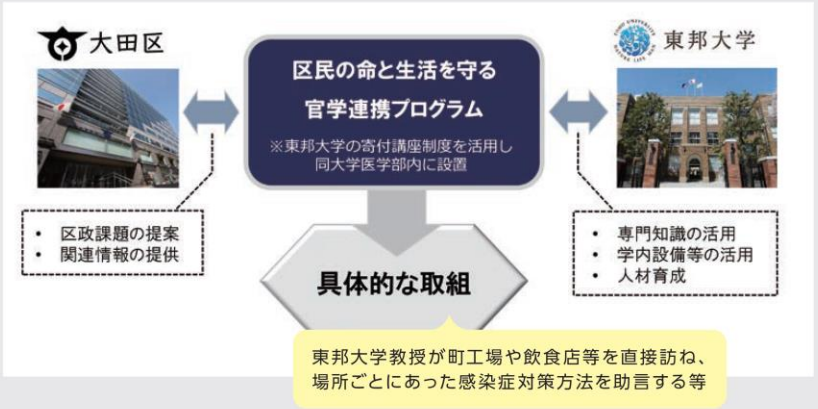
◎地震による想定死者数は前回想定よりも減少した。
◎「閉じ込めに繋がり得るエレベーター停止台数」は大幅に増加した。

モデルとなる災害		2012年公表 被害想定 東京湾北部地震 冬・夕方、風速8m マグニチュード7.3 予想震度6強（一部地域では7）	2022年公表 被害想定 都心南部直下地震	増減数
人的被害	死者数	1,073人	726人	△347人
	負傷者数	10,412人	7,815人	△2,597人
物的被害	建物（全壊） （うち火災棟数）	43,326棟 （32,218棟）	27,422棟 （18,884棟）	△15,904棟 （△13,334棟）
	建物（半壊）	29,224棟	15,291棟	△13,933棟
避難所避難者数		237,135人	208,667人	△28,468人
帰宅困難者数		166,426人	123,906人	△42,520人
閉じ込めに繋がり得るエレベーター停止台数		384台	1,508台	1,124台

（資料）東京都防災会議「首都直下地震等による東京の被害想定」報告書を基に作成

東邦大学と連携し、新型コロナに対応した

◎東邦大学と連携し、官学連携プログラム等を通じて、新型コロナに迅速に対応した。



データブック：P.22

8 治安

刑法犯の認知件数は減少傾向だが、特殊詐欺被害件数等は増加傾向にある。

■千人当たりの刑法犯の認知件数は2008年時点と比較して減少しており、23区で８番目に少ない状況となっている。一方で2022年には８年ぶりに増加した。

■交通事故発生件数は減少傾向だが、死者数は横ばいの状態となっている。

■自転車盗難件数は2014年をピークに減少傾向にある。

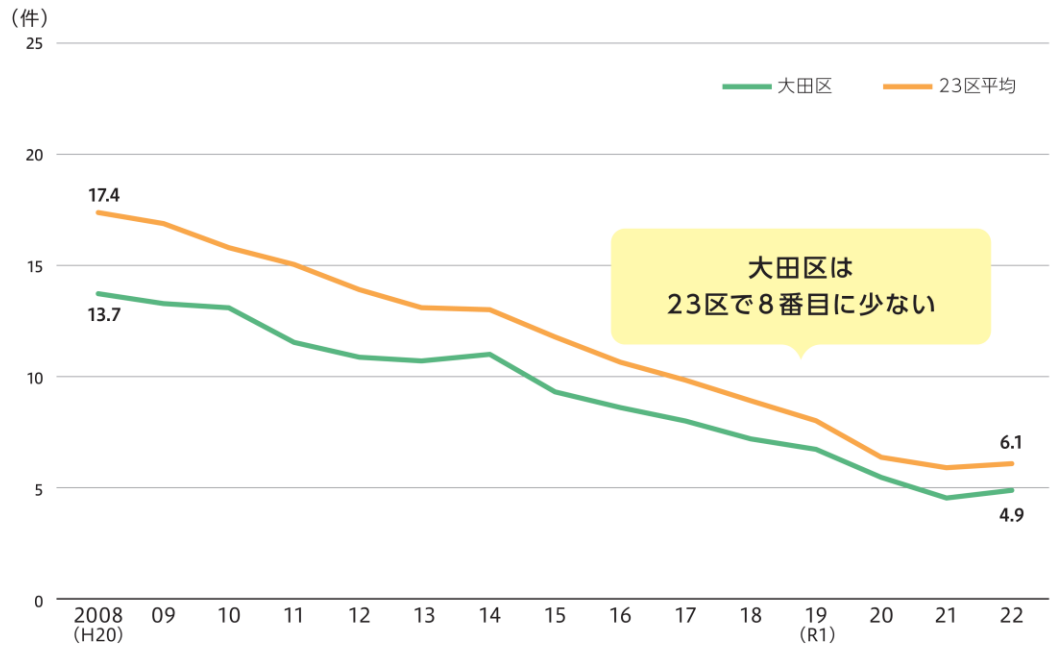
■特殊詐欺被害件数と被害金額は2017年と比較して増加している。

■区民の約６割は治安に満足しているものの、３人に１人は不満を感じている。

刑法犯の認知件数は減少傾向である

◎千人当たりの刑法犯の認知件数は2008年時点から減少している。
◎これまで千人当たりの刑法犯の認知件数は減少していたものの、2022年には８年ぶりに増加した。
◎千人当たりの刑法犯の認知件数は23区で８番目に少ない。

千人当たりの刑法犯認知件数の推移

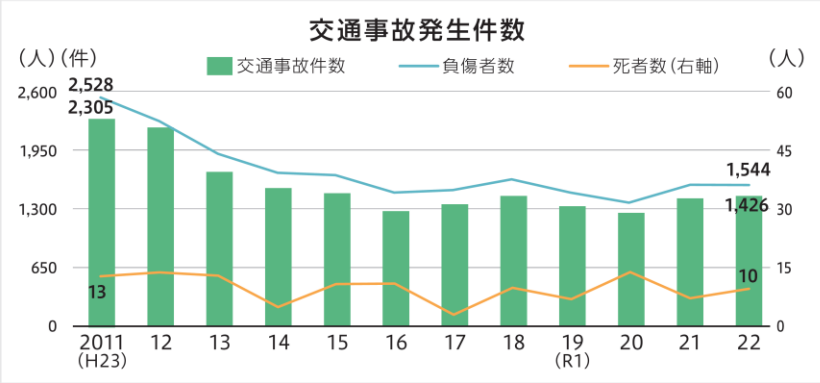


（資料）防災安全対策特別委員会資料を基に作成

データブック：P.23

交通事故発生件数は減少傾向だが、死者数は横ばいとなっている

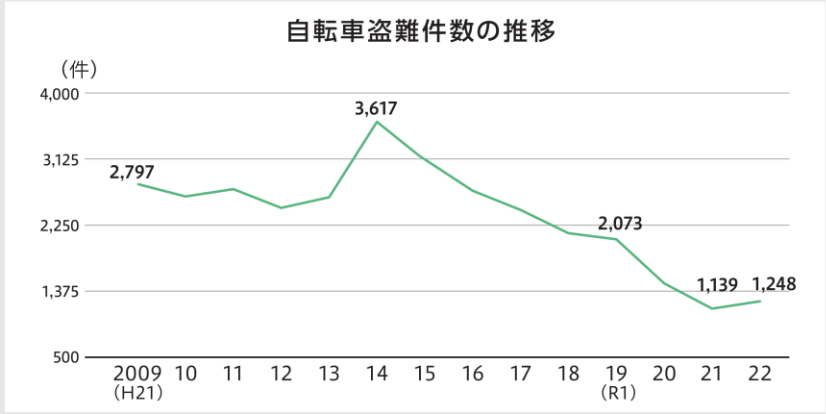
◎交通事故発生件数と負傷者数は減少傾向である。
◎死者数は横ばいとなっている。



(資料)大田区HP「区内の交通事故」を基に作成

自転車盗難件数は減少傾向にある

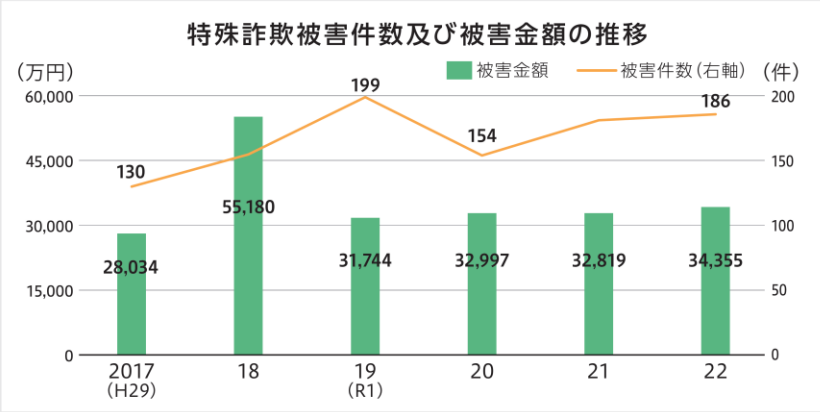
◎自転車盗難件数は2014年をピークに減少傾向である。



(資料)大田区HP「区内犯罪発生状況」を基に作成

特殊詐欺被害件数は増加傾向にある

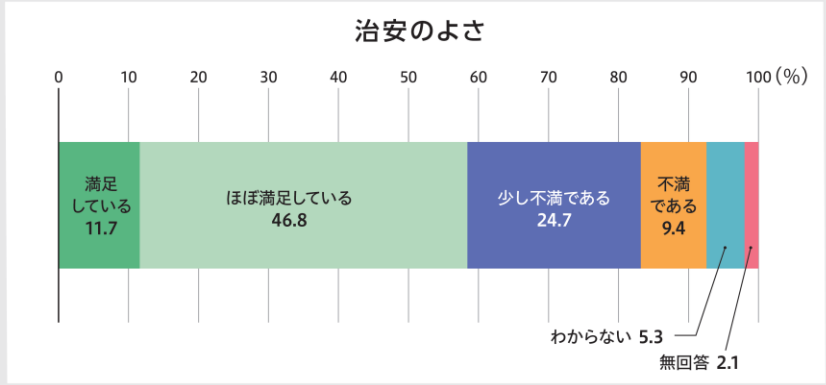
◎特殊詐欺被害件数及び被害金額は2017年と比較して増加している。



(資料)防災安全対策特別委員会資料を基に作成

区民の3人に1人は治安に不満がある

◎世論調査では58.5%は治安の良さに満足しているものの、34.1%は不満を抱えている。



(資料)「令和3年大田区政に関する世論調査」を基に作成

データブック：P.26

10 公園・緑地

緑被率は減少しているが、建築物における緑化や公園・緑地の整備面積は増加傾向にある。

■区全体に対するみどりに覆われた割合を示す「緑被率」は減少しており、草地と樹木被覆地は少なくなっている。

■まちの景観を構成する建築物の屋上や壁面の緑化面積は増加傾向にあり、良好な景観が形成されている。

■区が実施したみどりに関するアンケート調査によると、今後の大田区に求められるみどりの役割として、ヒートアイランド現象やCO_2削減等の環境対策が第1位である。

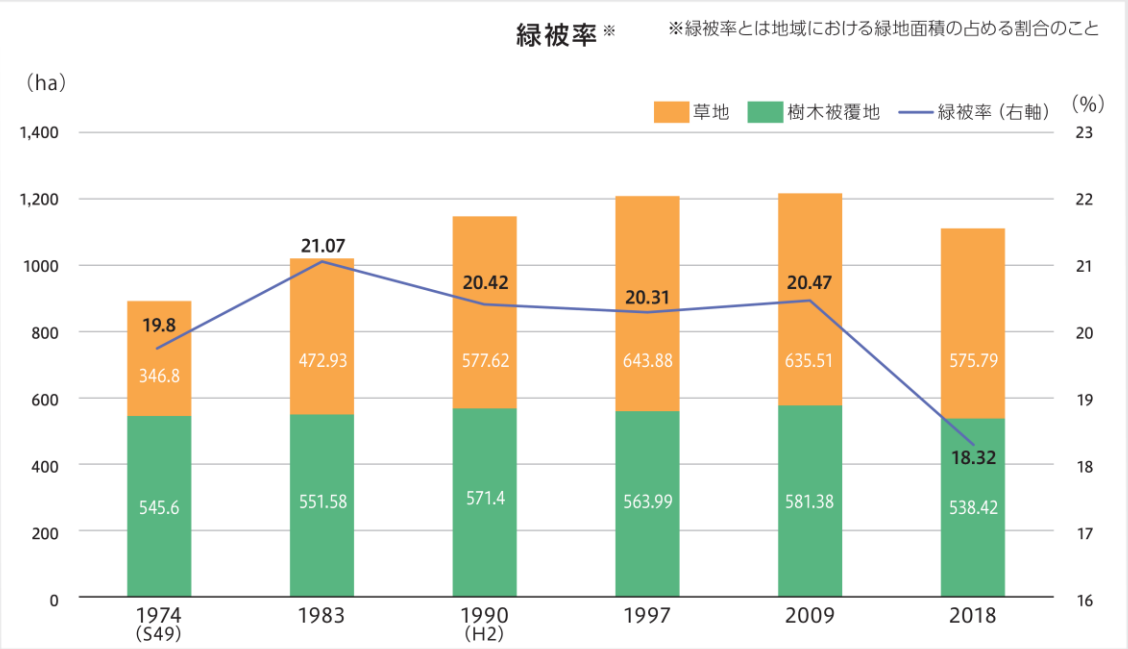
■地域コミュニティの場となる公園・緑地の総面積は増加傾向にある。

■大規模な公園の整備にあたっては、ベンチ・テーブルや飲食機能の充実などの要望が多く、公園利用に伴う機能の充実を求められている。

緑被率は減少傾向にある

◎地域における緑地面積の占める割合を示す「緑被率」は2018年に18.32%であり、1983年の21.07%をピークに減少傾向にある。

◎草地と樹木被覆地の面積はいずれも2009年と比較して減少している。

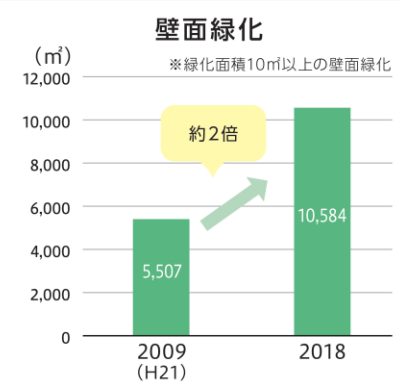


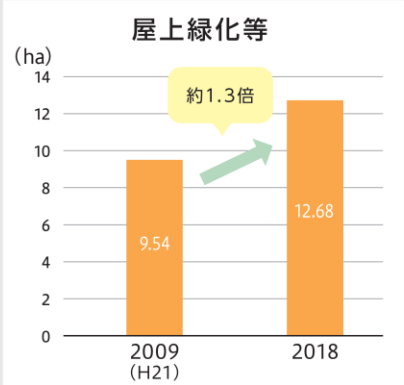
（資料）「平成30年度大田区みどりの実態調査」を基に作成

データブック：P.27

建築物の壁面緑化と屋上緑化の面積は増加している

◎2009年と比較して、壁面緑化面積は約2倍、屋上緑化等面積は約1.3倍に増加している。

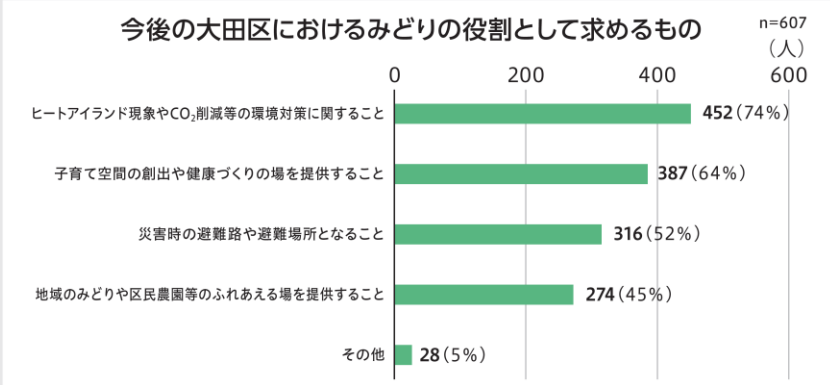




（資料）「平成30年度大田区みどりの実態調査」を基に作成

まちづくりに求められるみどりの役割は環境対策が第1位である

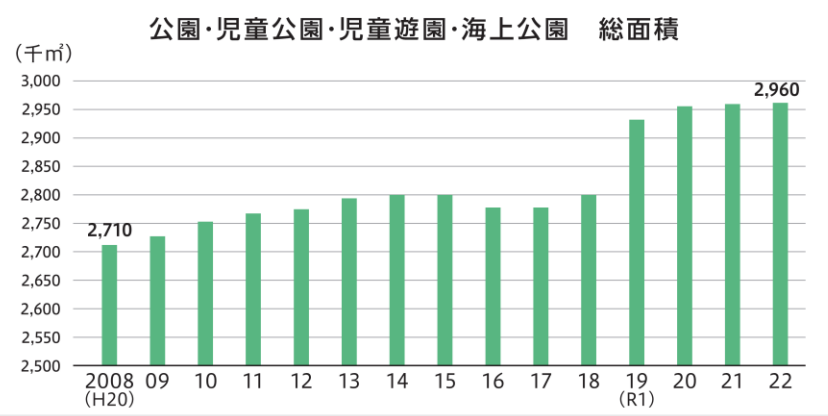
◎みどりのまちづくりにおける今後の在り方に関するアンケートでは、最も多かったのが環境対策、次いで子育て空間創出や健康づくりの場の提供に関する声が多かった。



（資料）「グリーンプランおおた」を基に作成

公園・緑地の総面積は増加傾向にある

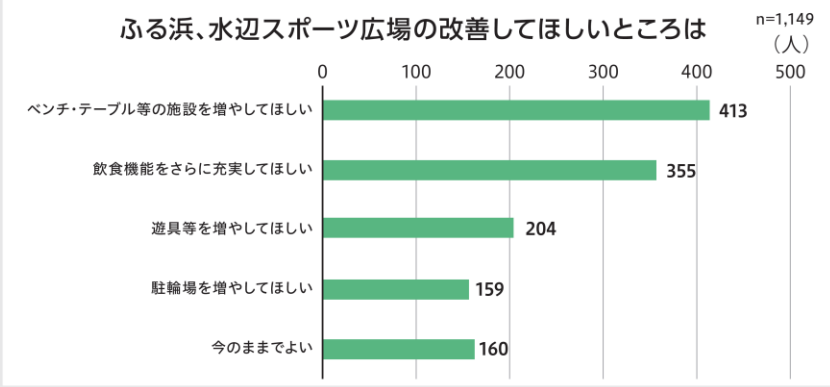
◎2016年には公園総面積が減少したものの、その後は増加し続けている。



（資料）「大田区政ファイル」を基に作成

大規模公園の整備では、飲食機能の充実を求める声も多い

◎区民アンケートで大規模公園の改善点を訪ねた際、1番目は「ベンチ・テーブル等の施設を増やしてほしい」、2番目は「飲食機能をさらに充実してほしい」となった。



（資料）「大森ふるさとの浜辺公園・大森東水辺スポーツ広場の利用に関するアンケート結果」を基に作成

データブック：P.30

12 地域力

自治会・町会の加入率は他自治体よりも高い傾向にあるが、加入率は2011年をピークに減少傾向にあり、コロナ禍で減少が加速した。

■自治会・町会の加入率は減少傾向にあるが、同程度の人口を持つ他自治体と比較すると高い。

■地域活動の参加経験がある区民は約半数となっている。また、地域活動やボランティア活動に参加したいと思う特徴としては、「単発・短時間」、「自宅の近く」、「一人でも参加できる」などが挙がり、気軽に参加できるという特徴が求められている。

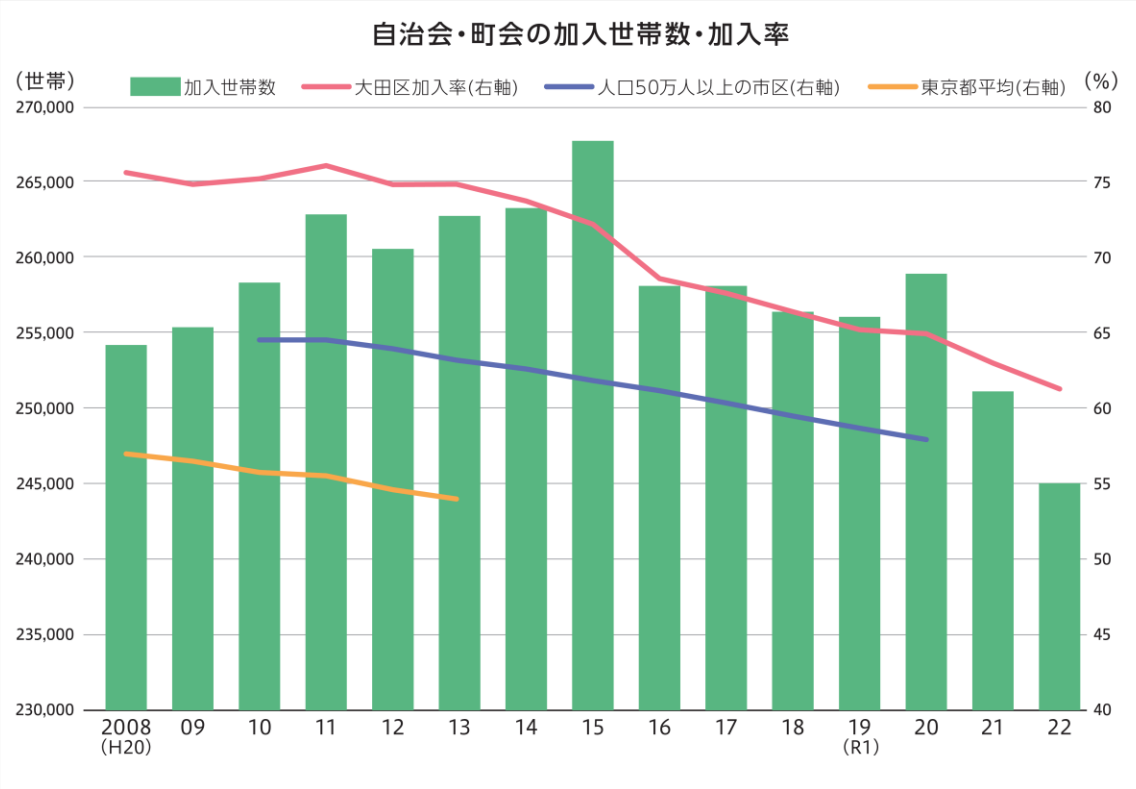
■地域団体が求める支援としては、情報提供、PR、施設紹介など、情報提供に関する要望が多くなっている。また、困っていることとしては活動者の高齢化や人材の確保が多く挙がっている。

■単独世帯の比率は上昇傾向にあり、23区平均と同程度で推移している。

自治会・町会の加入率は比較的高い割合にあるが、減少傾向にある

◎自治会・町会の加入率・加入世帯数は他自治体と比較すると高いが、加入率は2011年を境に、加入世帯数は2015年を境に減少傾向となっている。

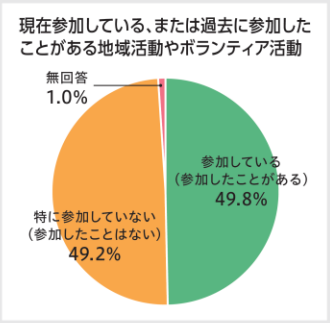
◎コロナ禍となった2020年以降、加入率・加入世帯数はどちらも大幅に減少した。

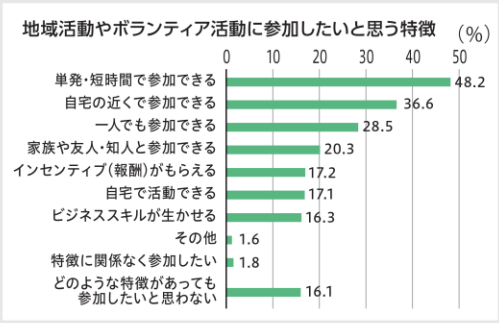


(資料)「大田区政ファイル」各年版、総務省「地域コミュニティに関する研究会報告書」、東京の自治のあり方研究会最終報告を基に作成

気軽に参加できる地域活動の形式が求められている

◎地域活動の参加経験がある区民は約半数となっている。また、地域活動やボランティア活動に参加したいと思う特徴としては、「単発・短時間」、「自宅の近く」、「一人でも参加できる」などが挙がり、気軽に参加できるという特徴が求められている。



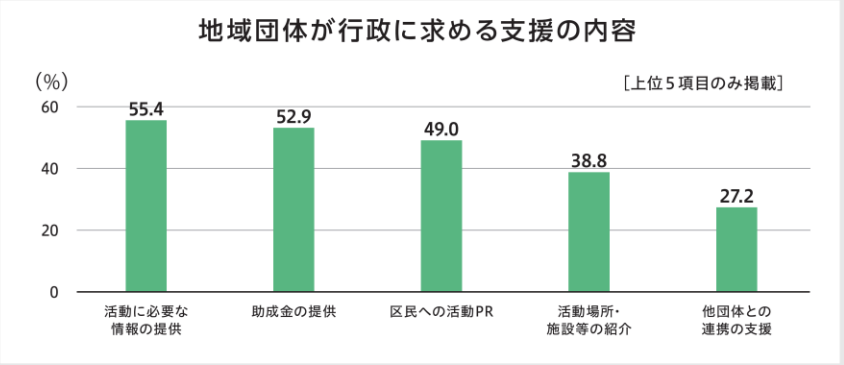


（資料）「令和４年度大田区地域福祉計画実態調査報告書」を基に作成

※左グラフ「参加している（参加したことがある）」の項目は、100%から「特に参加していない（参加したことはない）」「無回答」を除いて算出

地域団体が求める支援として、情報提供関連の要望が多い

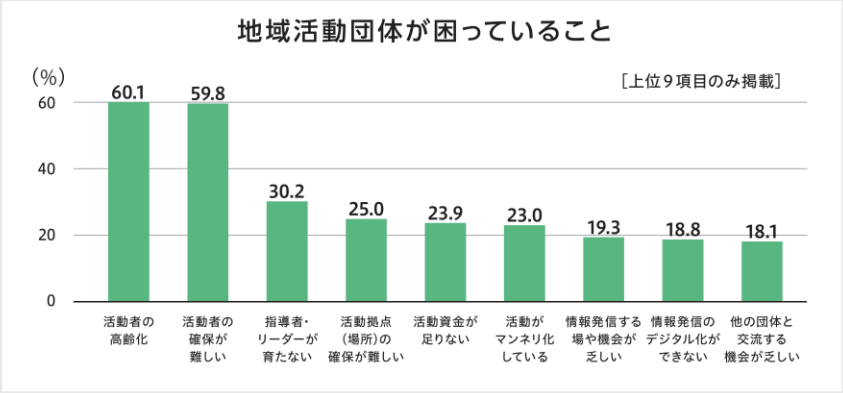
◎地域団体が行政に求める支援として、助成金が２番目に多く挙がった。全体的には、情報提供、PR、施設紹介など、情報提供に関連する支援を求める声が多い。



（資料）「令和４年度大田区地域福祉計画実態調査報告書」を基に作成

活動者の高齢化や人材確保に困る地域団体が多い

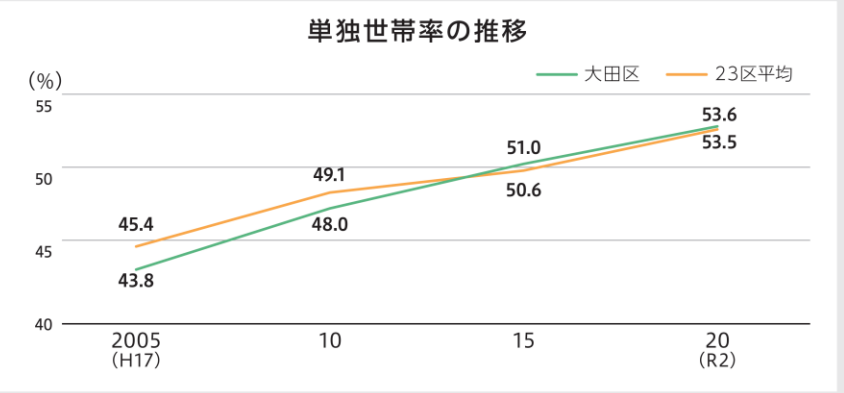
◎地域活動団体が困っていることとして、活動者の高齢化や人材の確保が多く挙がっている。



（資料）「令和４年度大田区地域福祉計画実態調査報告書」を基に作成

単独世帯の比率は上昇傾向にある

◎単独世帯の比率は年々上昇しており、23区平均と同程度で推移している。



（資料）総務省「国勢調査」を基に作成

データブック：P.44

23区で唯一空港があるまち おおた

①羽田空港の概要

◎1931年に「東京飛行場」として正式開港以来、首都・東京の玄関口として機能し、国内の空港の中でも特に利用者数が多く、発着容量は48.6万回/年と日本最大の空港となっている。

国内線	国際線
49空港 約500便/日（往復）	25ヵ国・地域 51都市 最大144便/日（往復）



②ランキングで見る羽田空港

◎利用者数は全国1位、世界5位（2019年度）。

順位	空港	年間旅客数
1	**羽田**	**8,222万**
2	成田国際	3,954万
3	関西国際	2,866万
4	福岡	2,304万
5	新千歳	2,281万

（資料）国土交通省資料を基に作成

順位	空港	年間旅客数
1	アトランタ	11,053万
2	北京	10,001万
3	ロサンゼルス	8,807万
4	ドバイ	8,640万
5	**羽田**	**8,551万**

（資料）「Airports Council International Worldwide-Airport Traffic Report-Calendar Year 2019」を基に作成

◎様々なランキングでも世界的に優秀な成績を誇る（2023年度）。

清潔な空港部門	8年連続1位	PRM※対応部門	5年連続1位
国内線空港総合評価部門	11年連続1位		

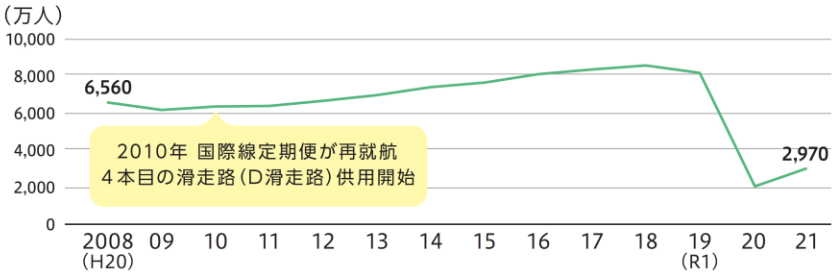
※PRM：高齢者、障がいのある方や怪我をされた方のことを指す

（資料）英SKYTRAX社2023年調査による

③羽田空港の乗降客数

◎利用者数は国際線再就航後、年々増加している。コロナ禍により一時的に減少したが、現在回復傾向にあり、今後コロナ禍前まで戻ると見込まれている。

羽田空港乗降客数の推移



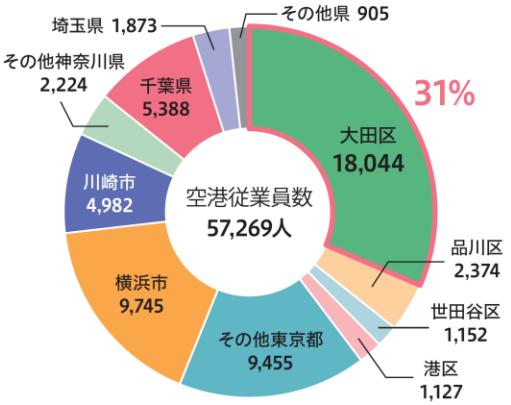
（資料）国土交通省「暦年・年度別空港管理状況調書」を基に作成

④羽田空港勤務者の居住地

◎羽田空港に勤める従業員約57,000人の居住地を自治体別に見た場合、大田区が圧倒的に多く、全体の約3割を占めている。

◎都県別の場合、東京都が約56%、神奈川県が約30%となっている。

羽田空港勤務者の居住地（2020年度）



（資料）国土交通省資料を基に作成

ホットトピック・1 羽田イノベーションシティにおける取組

①羽田イノベーションシティの事業コンセプト

◎公民連携により事業を推進することで、世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を集積させ、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流し、新たなビジネスやイノベーションを創造するとともに、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指している。2023年11月ごろにグランドオープンを予定している。



②先端産業と文化産業の主な取組





自動運転バス



足湯スカイデッキ





ロボット研究開発拠点



ARスポーツ「HADO」



Zepp Haneda

画像提供：羽田みらい開発株式会社

③スマートシティの取組

◎持続可能都市大田区の形成を支えるスマートシティの構築

- ✓ 解決が困難な社会課題に対する解決策を生み出すため、先端技術を活用した実験の場（テストベッド）となるスマートシティを羽田空港跡地第1ゾーンに構築
- ✓ 国土交通省スマートシティ事業にて「スマートシティ実装化支援事業」に選定



モビリティ

自動運転バスによる実証実験





ロボティクス

ロボットデリバリーサービスの導入検証

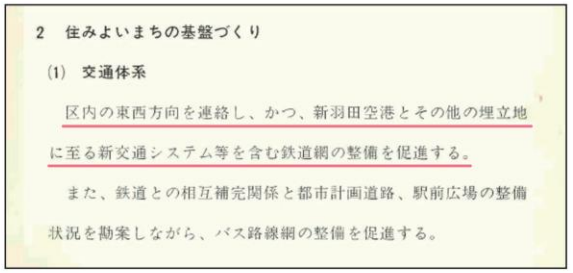
データブック：P.46

ホットトピック・2　新空港線実現への歩み

①新空港線構想の誕生

◎新空港線の構想が初めて明文化されたのは昭和57年の大田区基本構想。そこから大田区は今日に至る約40年間新空港線の実現に向けた取組を進めてきた。





2　住みよいまちの基盤づくり

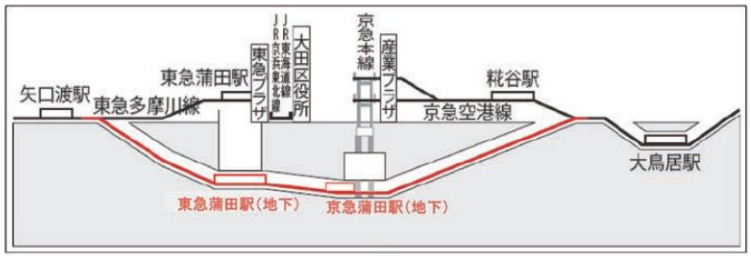
(1)　交通体系

区内の東西方向を連絡し、かつ、新羽田空港とその他の埋立地に至る新交通システム等を含む鉄道網の整備を促進する。

また、鉄道との相互補完関係と都市計画道路、駅前広場の整備状況を勘案しながら、バス路線網の整備を促進する。

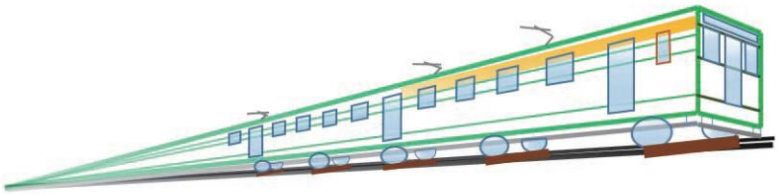
②新空港線の概要

◎新空港線は、矢口渡～大鳥居をつなぐ鉄道新線。東急多摩川線矢口渡駅付近から多摩川線を地下化し、東急蒲田駅(地下)、京急蒲田駅(地下)を通り、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画となっている。

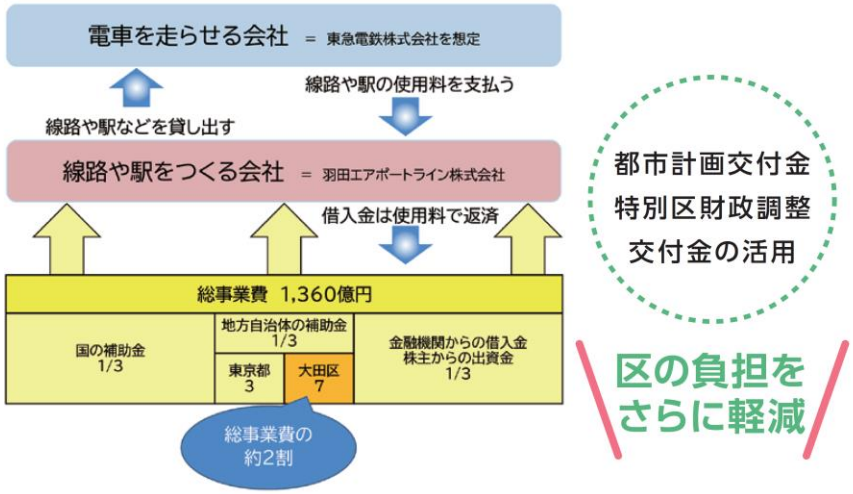


③「羽田エアポートライン株式会社」設立

◎令和４年10月に大田区と東急電鉄株式会社との共同出資により、新空港線の整備主体となる第三セクターの羽田エアポートライン株式会社を設立。



④整備事業における費用の仕組み



ホットトピック・3　大田区のＳＤＧｓ推進について

①ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは

◎ＳＤＧｓは、2015年開催の国連サミットにおいて全会一致で採択された**2030年までに達成すべき国際目標**

◎先進国を含む国際社会共通の目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な**17のゴールと169のターゲット**で構成されている。



ＳＤＧｓの達成に向けて

- ✓ 国家レベルだけでなく、一般市民や産業界等の**多様な主体の連携・協力**が必要
- ✓ **自治体行政**は、地域の経済・社会や歴史・文化等の**実態に即した施策を推進する責任・役割**を担う。

◎ＳＤＧｓ推進に向けた大田区の動き

・2022年３月 大田区におけるＳＤＧｓ推進のための基本方針を策定
・2022年４月 大田区ＳＤＧｓ推進会議を設置

大田区は2023年度
「ＳＤＧｓ未来都市」・「自治体ＳＤＧｓモデル事業」に
「ダブル選定」されました！

ＳＤＧｓ未来都市とは

◎ＳＤＧｓの理念に沿った取組を推進しようとする都市の中から、**特にポテンシャルが高い都市を選定する内閣府の制度**

◎**毎年30都市程度がＳＤＧｓ未来都市として認定**され、うち**特に優れた10都市**はモデル事業選定都市、いわゆる**ダブル選定都市**として認定される。



選定証を手に記念撮影をする鈴木区長

データブック：P.56

温暖化対策の有無によって未来の環境は大きく異なる。

- 温暖化対策を行わずに迎えた21世紀末と、対策を行った上で迎えた21世紀末では、気温や猛暑日の日数などに大きな差が生じる。
- 温暖化対策を取らない場合（4℃上昇シナリオ）は、21世紀末の大雨の発生回数が20世紀末の約2.3倍に増加する。
- 国や東京都も2050年カーボンニュートラルに向けた取組を加速している。

温暖化対策を行わない場合、関東圏全域の平均気温が約4.2℃上昇する

◎温暖化対策の有無で、気象に様々な影響が発生する。



※冬日・猛暑日・真夏日・熱帯夜に記載されている日数は年間日数を指す

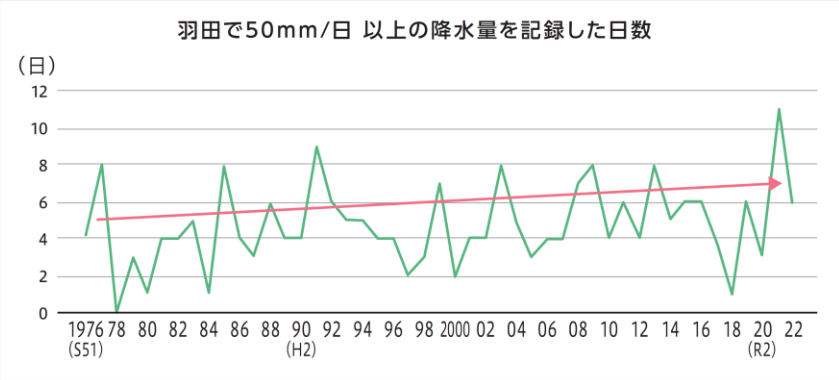
（資料）東京管区気象台「東京都の気候変動（令和４年３月）」を基に作成

データブック：P.57

温暖化対策を取らないと大雨の災害発生のリスクが増大する

◎温暖化対策を取らないことで、大雨の発生回数が20世紀末と比べて21世紀末に約2.3倍に増加する。
◎一方で、温暖化対策を取った場合には大雨の発生回数の頻度の増加率は緩やかになる。

東京（羽田）の1時間降水量50mm以上の発生回数の変化



21世紀末（2℃上昇シナリオ）	21世紀末（4℃上昇シナリオ）
約1.6倍に増加（20世紀末との比較）	約2.3倍に増加（20世紀末との比較）

（資料）気象庁「過去の気象データ検索」、気象庁「日本の気候変動2020」を基に作成

国や東京都は高い目標を掲げて温暖化対策を加速している

◎国は2030年までに温室効果ガス排出量削減率46%（2013年比）を目標として、脱炭素や住宅・建築物の省エネ化に向けた取組を進めている。
◎東京都は2030年までに温室効果ガス排出量削減率50%（2000年比）を目標として、省エネの最大化と脱炭素エネルギーへの転換を図っている。

温室効果ガス削減における国と東京都の目標と、それに向けた取組例

	2030年	2050年
国	**削減率46%（2013年比）** ✓ 100以上の「脱炭素先行地域」を創出 ✓ 住宅や建築物の省エネ基準への適合義務付け拡大	**カーボンニュートラル** ✓ 2050年に向けたイノベーション支援として、水素など重点分野の研究開発及び社会実装を支援
東京都	**削減率50%（2000年比）** ✓ 省エネの最大化と再エネ利用拡大によるエネルギーの脱炭素化 ✓ 様々な分野で水素エネルギー活用を推進 ［2023年6月1日に水素エネルギーの利活用拡大に向け川崎市・大田区・東京都による連携協定を締結］	**ゼロエミッション東京** ✓ 使用エネルギーが100%脱炭素化 ✓ 都内全ての建物がゼロエミッションビルに ✓ CO_2実質ゼロのプラスチック利用が実現 ✓ 食品ロス発生量実質ゼロ 等

（資料）環境省「地球温暖化対策計画」、東京都「2030年カーボンハーフに向けた取組の加速」を基に作成

データブック：P.58

地震・水害・噴火など、様々なリスクへの対応が求められる。

■マグニチュード7クラスと推定される首都直下地震は30年以内に70％程度の確率で発生すると予測されている。

■東京都の被害想定によると、首都直下地震で23区の約6割が震度6強以上とされており、大田区ではほぼ全域で震度6強以上の揺れが想定されている。

■温暖化によって水害の危険性も高まっており、海面上昇や強い台風の増加につながる場合がある。

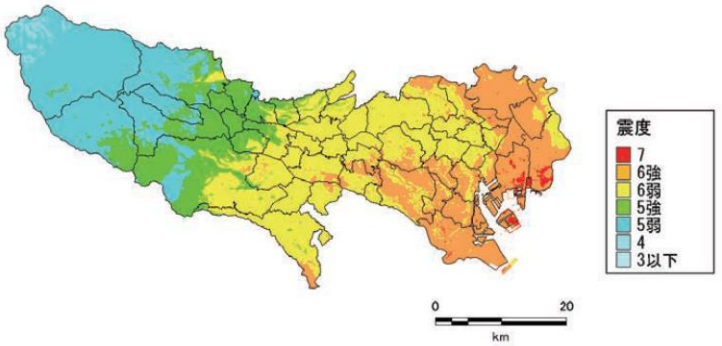
■富士山は約300年間噴火しておらず、今後噴火する際は大規模な噴火になる可能性が指摘されており、大田区でも甚大な被害が想定される。

首都直下地震で、大田区はほぼ全域で震度6強以上の揺れが想定されている

◎都内で最大規模の被害が想定される都心南部直下地震では、震度6強以上の範囲は23区の約6割に広がると想定されている。

◎大田区での建物被害は42,713棟、死者は726人と想定されている。

都心南部直下地震（M7.3）による震度分布及び被害想定



分類	地震後に起こりうる事態
ライフラインとインフラ	電力・上水道・通信・鉄道が発生直後には広範囲で使用できなくなるものの、3日～1週間後以降は段階的に回復すると見込まれる。
救出救助や被災地支援	地震の発生直後には同時多発的に火災が起きる。 また避難後も電気復旧後の通電火災が起きる恐れがある。 至る所で道路寸断が発生し、被害状況の確認や救出救助、消火活動等が困難化する。

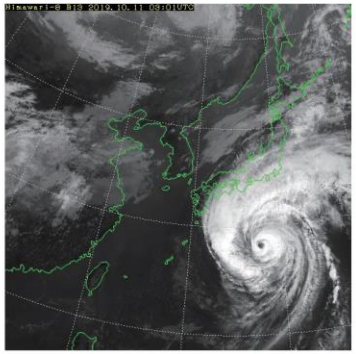
（資料）東京都防災会議「首都直下地震等による東京の被害想定」報告書を基に作成

データブック：P.59

温暖化に伴い海面が上昇し、水害の危険性も高まる

◎令和元年台風19号のような大型台風が再び到来した際に、海面が上昇していることで、被害はこれまでよりも大きなものとなってしまう。

令和元年台風19号衛星写真



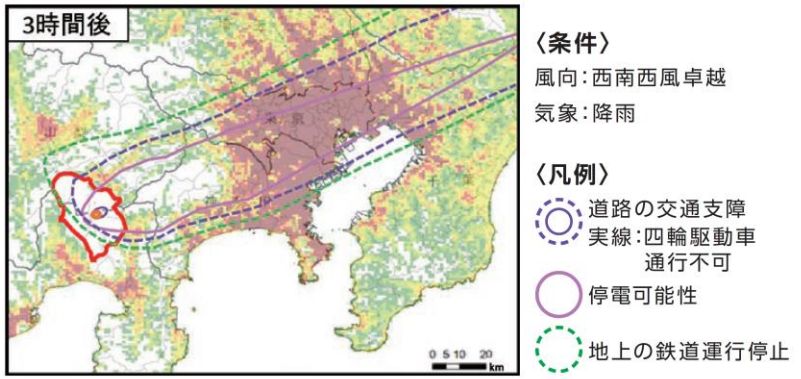
写真：2019年10月11日12時 赤外画像（気象庁提供）

分類	温暖化が進行した際に起こりうる事態
海面	0.71m上昇し、大田区の水辺環境に影響が生じる。
台風	台風のエネルギー源である大気中の水蒸気量が増加するため、日本付近における台風の強度は強まる。
洪水	豪雨の発生頻度の増加に伴い、洪水が激化する。

（資料）国土交通省「海面水位・高潮・高波の観測事実と将来予測～「日本の気候変動2020」から～」
国土交通省「気候変動を踏まえた水災害対策等検討小委員会」資料、気象庁HPを基に作成

富士山が噴火し、火山灰が積もった際に起こりうる影響

◎国による富士山噴火時の降灰シミュレーションによると、大田区では鉄道の運行停止や停電などの被害に遭うと示されている。



分類	噴火発生時に起こりうる事態
鉄道	微量の降灰で地上路線の運行が停止する。
道路	視界低下による安全通行困難となる。道路上の火山灰や交通量増等による速度低下や渋滞が起こる。
空港	飛行機はエンジン停止し、空港は長期間に渡って閉鎖される。
人の移動	鉄道の運行停止と道路の渋滞により一時滞留者が発生する。帰宅・出勤等の移動が困難となる。
上水道	原水の水質が悪化し、浄水施設の処理能力を超えることで、水道水が飲用不適または断水となる。

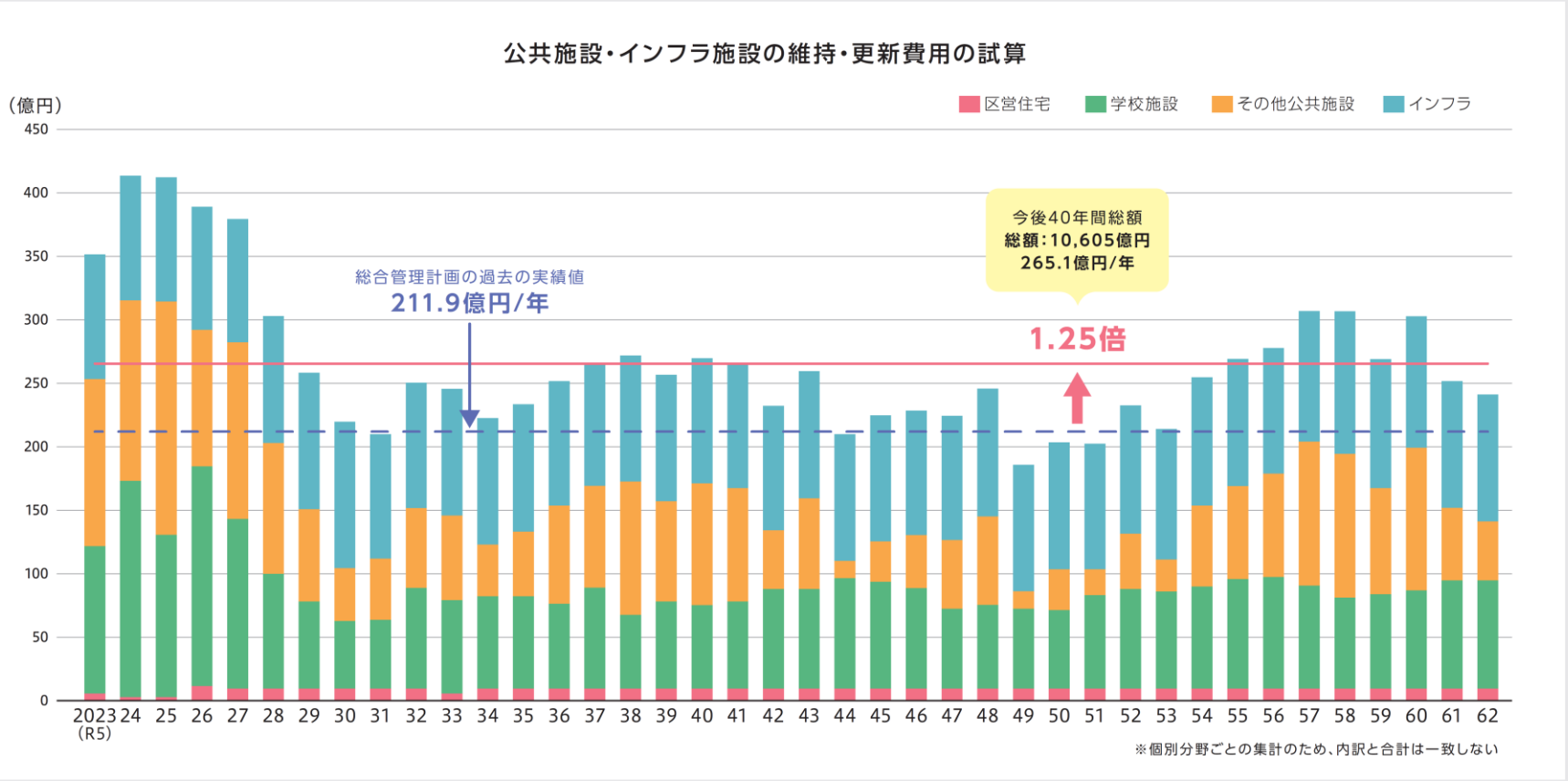
（資料）内閣府「大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ」資料を基に作成

データブック：P.62

公共施設の維持・更新やインフラ資産の整備等に係る費用は、今後増加することが見込まれる。

公共施設・インフラ施設の維持・更新費用は、今後40年間で10,605億円の支出が見込まれる

◎「大田区公共施設等総合管理計画」の過去の実績値は211.9億円/年であり、今後も長期的に公共施設等の維持・更新費用の増大が見込まれる。



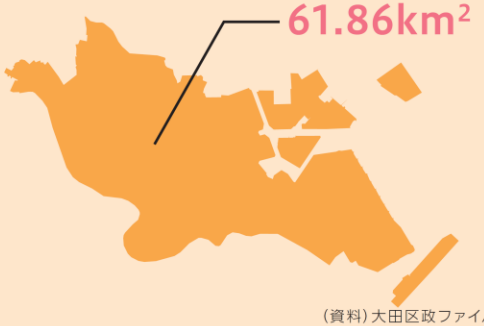
（資料）「大田区公共施設改築・改修等中期プラン」を基に作成

データブック：P.64

大田区ってどんなまち？

Ota City 面積

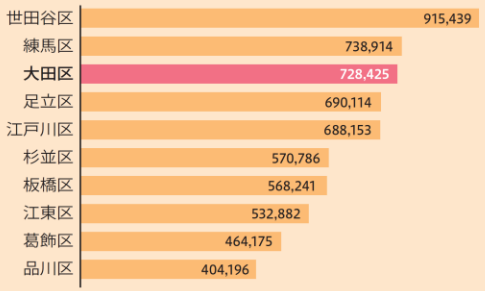
面積は23区で1位！



（資料）大田区政ファイル

Ota City 人口

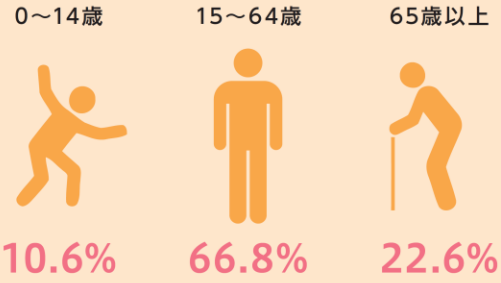
総人口は23区で3位!



（資料）東京都の統計HP（2022）

Ota City 年齢

大田区の年齢構成は・・・



（資料）区住民基本台帳データ（2022）

Ota City 外国人

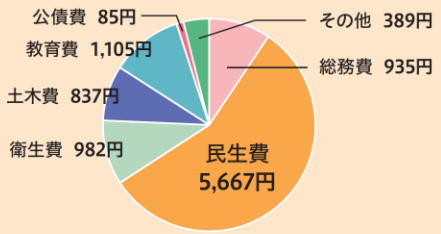
区民のおよそ30人に1人が外国人



※令和４年の外国人区民比率：3.44%　（資料）区住民基本台帳データ（2022）

Ota City 財政

区の歳出を1万円とすると・・・



最も大きい歳出は民生費5,667円

※令和３年度決算　（資料）OTAシティ・マネジメントレポート

Ota City 空港

世界と繋がる日本の玄関口、

羽田空港



データブック：P.65

Ota City
ものづくり

中小企業・町工場が集積



Ota City
商店街

商店街数は都内最多！



Ota City
新産業創造・発信拠点

新産業・イノベーションの拠点
「羽田イノベーションシティ」





Ota City
銭　湯

大田区の銭湯は都内最多！
「黒湯」が有名



Ota City
SDGs

2023年度、「SDGs未来都市」・
「自治体SDGsモデル事業」にW選定！



Ota City
大田区公式PRキャラクター



大田区の特徴である
羽田空港、桜、銭湯をPR

4章　特徴・強み、現状・課題（防災/治安）

データブック：P.69/70

防災

区の特徴や強みの一例

- 住宅の耐震化率や不燃領域率は年々上昇しており、**耐震化率は９割を超えた。**
- 令和元年台風１９号の経験を踏まえ、「仲六郷水防資機材センター」や「田園調布水防センター」を整備するなど、**水防体制を強化**
- 首都直下地震の被害想定では、**10年前と比べ多くの項目で被害が減少**
- 専門的な知見を持つ東邦大学と連携し、感染症に備えた体制を整備

現状や課題の一例

- マグニチュード7クラスと推定される首都直下地震は、**30年以内に70％程度の確率で発生すると予測**されている。
- 区政に関する世論調査において「防災対策」への施策要望は高く、自助・共助の取組の一層の強化を図り、**更なる減災を推進していく必要**がある。
- 温暖化の進行に伴い、大型台風が増加するなど、**水害の危険性も高まる。**

治安

区の特徴や強みの一例

- 千人当たりの刑法犯認知件数は減少傾向にあり、**23区で８番目に少ない。**
- **交通事故発生件数は10年間でほぼ半減**
- **自転車盗難件数はピークの2014年と比較して約３分の１に減少**

現状や課題の一例

- **特殊詐欺の被害件数は増加傾向**
- **区民の３人に１人は治安に不満**を抱えている。

4章　特徴・強み、現状・課題（公園・緑地/地域力）

データブック：P.71/72

公園・緑地

区の特徴や強みの一例

- 2009年と比較して、2018年には**壁面緑化面積は約2倍、屋上緑化面積は約1.3倍に増加**
- **公園の総面積は増加**

現状や課題の一例

- **緑被率は減少傾向**
- 公園整備に関する多様なニーズに応えていくため、**指定管理者制度やＰａｒｋ-ＰＦＩなどの公民連携手法**を検討していく必要がある。

  Park-PFI：都市公園において飲食店、売店等の収益施設の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する制度

地域力

区の特徴や強みの一例

- **「東京の縮図」**といわれるように、18の地域それぞれに特徴があり、**地域ごとの彩りにあふれている。**
- 自治会・町会への加入世帯数及び加入率は**人口50万人以上の市区と比較して高い。**

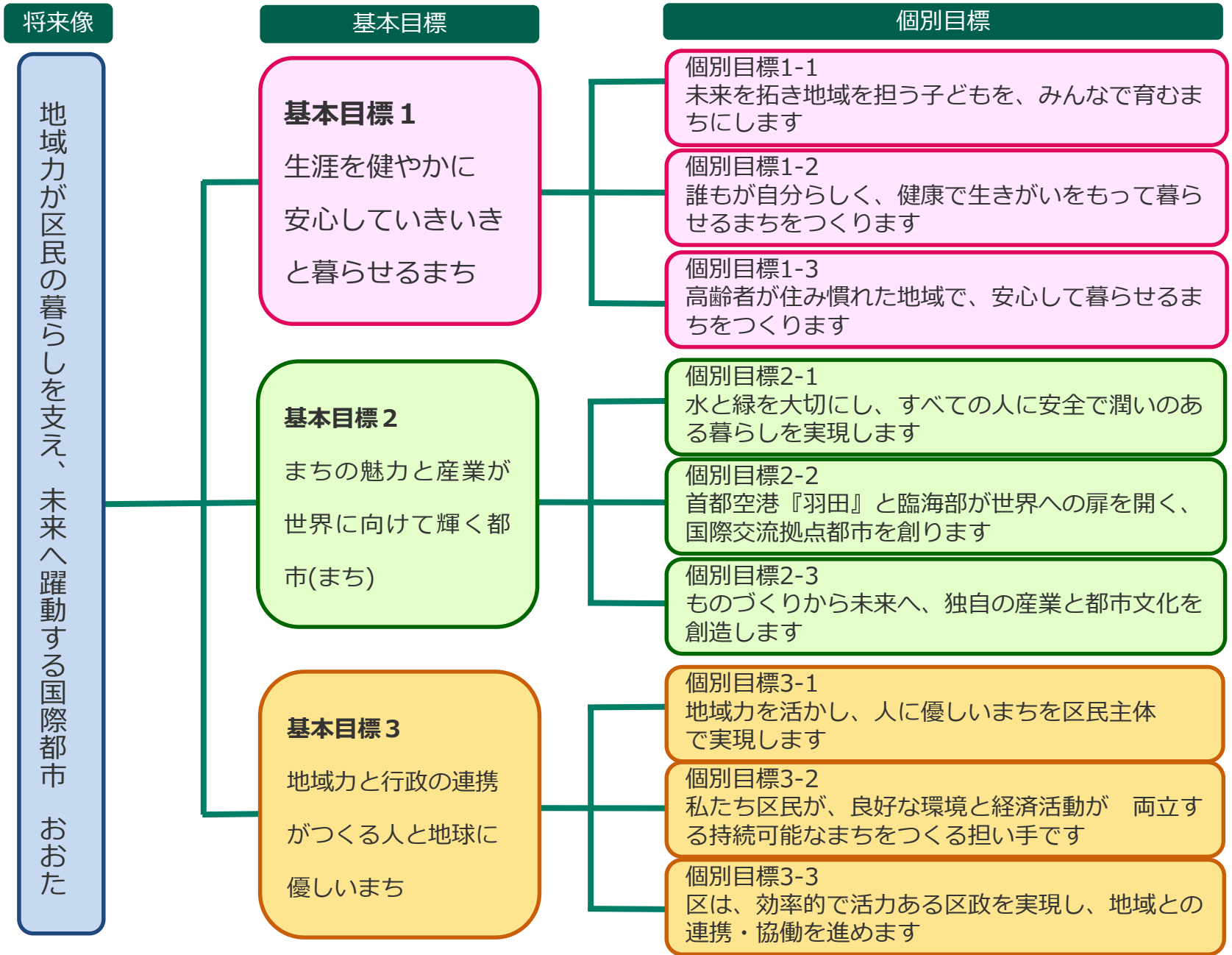
現状や課題の一例

- 自治会・町会加入率は減少傾向にあり、単独世帯率も増加しているため、**地域のつながりの希薄化**が懸念される。
- 高齢化や人材確保、情報発信に困る地域団体も多く、**区民と地域団体の双方への適切な支援**が重要

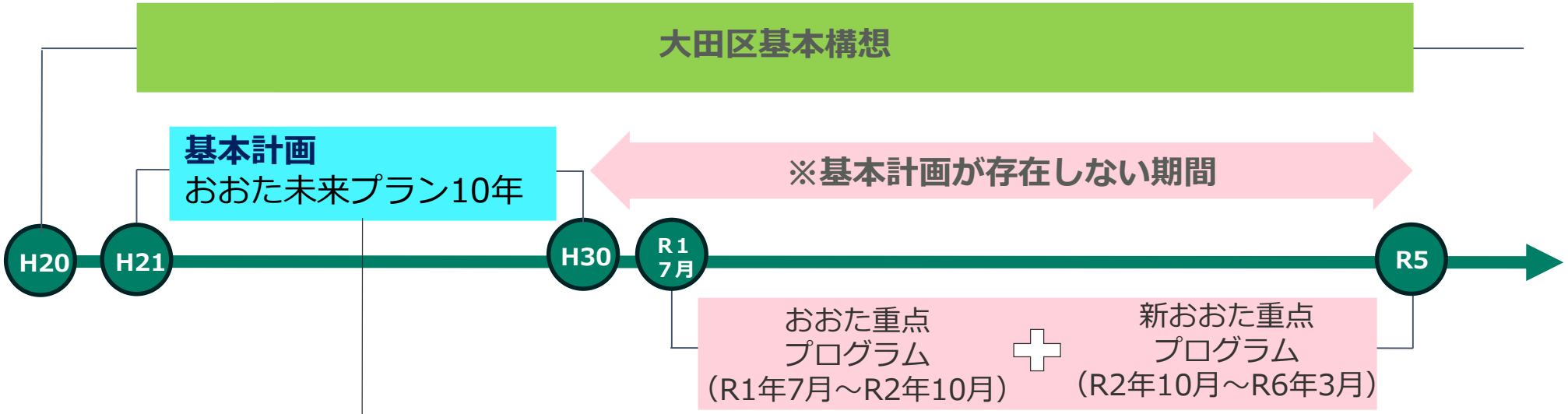
（１）**前半分野**（防災/治安/公園・緑地/地域力）
現構想の振り返りについて

振り返り手法について

大田区基本構想の体系図



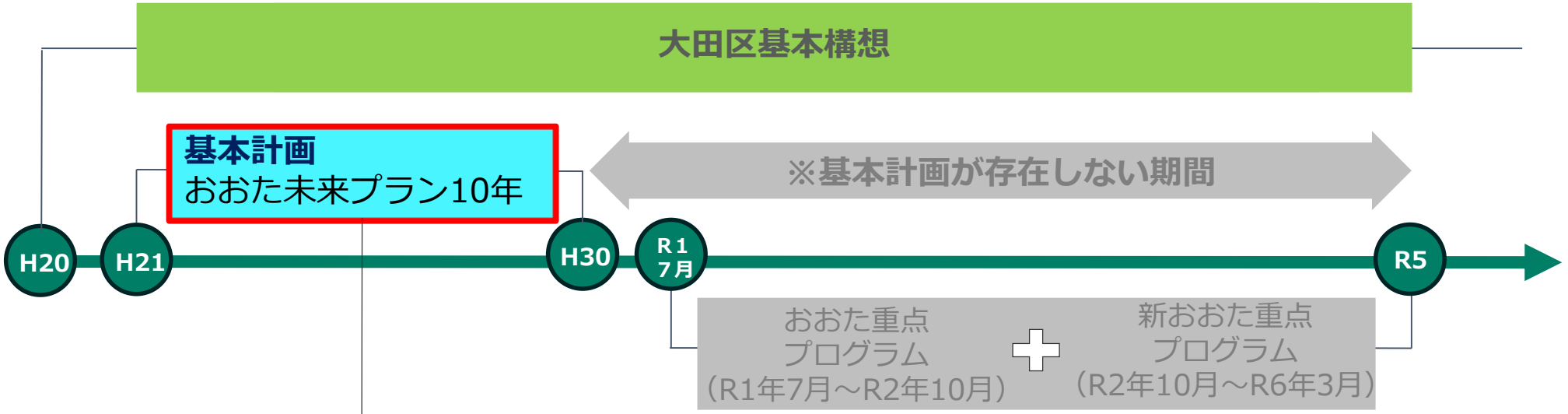
現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

おおた未来プラン10年（後期）における全体像

基本目標	個別目標	施策
基本目標１ 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産めるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育むまちをつくります 1-1-3　未来を担う子どもたちを育てます 1-1-4　のびのびと成長する子どもを見守ります
	個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　誰もが健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます 1-2-3　障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります 1-2-4　生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります 1-2-5　スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくります 1-2-6　安定した暮らしと人権を守ります
	個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります 1-3-2　高齢者が地域で包括的なケアを受け、安心して暮らせるまちをつくります 1-3-3　いざというときに高齢者を支える体制をつくります

目標値一覧（モノサシ指標）

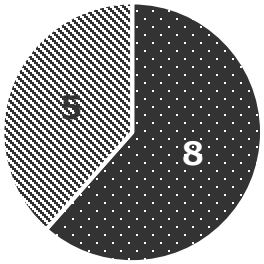
個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-1	1-1-1	妊娠11週以内に妊娠届出をした割合	94.1%	100%	94.1%
		すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率	92.4%	100%	92.4%
1-1	1-1-2	子育て環境に対する満足度	46.7%	50%	93.4%
		保育所入所率	98.4%	100%	98.4%
		保育サービス定員数（人）	15,338	12,443	123.3%
		ファミリーサポート延べ利用者数（人）	13,193	12,200	108.1%
1-1	1-1-3	大田区学習効果測定【中３数学、期待正答率を超えた生徒の割合】	64.5%	62%	104.0%
		不登校生徒出現率【中学校】	4.22%	2.88%	68.2%
		体力合計点【小６男女】	男子：60.31 女子：61.65	男子：61.01 女子：61.59	男子：98.9% 女子：100.1%
1-1	1-1-4	児童館ファミリールーム利用者数（人）	534,329	463,000	115.4%
		子ども家庭支援センターの相談件数	11,992	4,900	244.7%
1-2	1-2-1	65歳健康寿命(歳)　※最新値：H29	男性：82.28 女性：85.54	男性：82.26 女性：85.36	男性：100.0% 女性：100.2%
		特定健康診査受診率	36.6%	44%	83.2%
1-2	1-2-2	「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合	78.0%	80%	97.5%
		駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合★	46.4%	40%	116.0%
		だれでもトイレの設置割合	85.1%	95.9%	88.7%

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標1　生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち



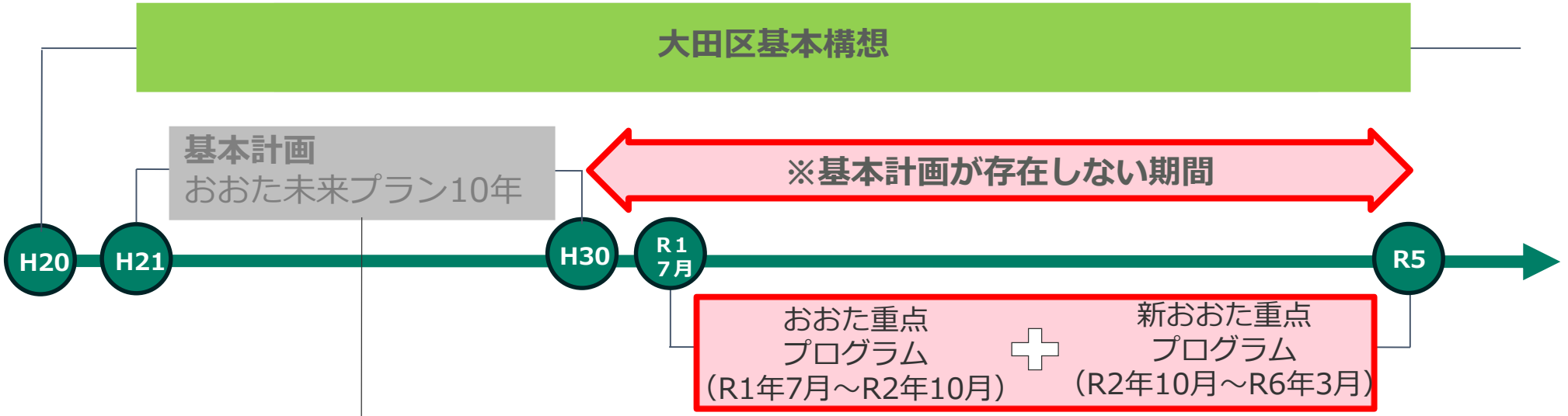
■ A（61.54%）　▨ B（38.46%）

	個別目標1-1	個別目標1-2	個別目標1-3
Aの件数	3	2	3
Bの件数	1	4	0
Aの割合	**75%**	**33.33%**	**100%**

主な成果（概要）

- 妊産婦面接やすこやか赤ちゃん訪問をはじめとする保護者支援の充実を図った。
- 子育て相談体制や保育サービス定員の拡充を図った。
- 国際理解教育やICT環境整備を推進するとともに、不登校対策の充実を図った。
- 地域医療連携や食育の推進等、区民の健康を支える取り組みの充実を図った。
- ユニバーサルデザインの普及啓発や、障がい者総合サポートセンターの開設等、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みを進めた。
- 図書館サービスの充実やスポーツ施設の整備等、文化やスポーツの推進を図った。
- 高齢者の就労や地域活動に向けた支援、介護予防サービス等の充実を図った。
- 地域包括支援センターを中心とした地域包括ケアシステムの構築・強化を図った。
- 緊急時や災害時の支援体制の整備、成年後見制度等権利擁護の推進を図った。

現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

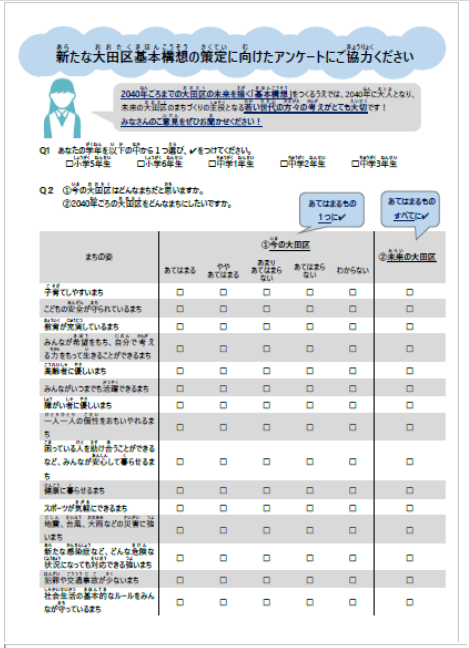
・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

新おおた重点プログラムの全体像

将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

新たな基本構想の策定に向けたアンケートの概要

調査目的	大田区の目指すべき将来像を示す「大田区基本構想」の策定に向けて、広くあらゆる世代の区民のみなさまのご意見を伺う
アンケートの概要	①30個のまちの姿について、「今の大田区」にどの程度あてはまるかを選択 ②同じ30個のまちの姿について、未来にこんなまちになってほしいと思うまちの姿にあてはまるものを選択 ③「未来にこんなまちになって欲しい」という意見を自由に記述
対象者	区内在住・在勤・在学の方
配布・回収方法	インターネット・FAX・郵送
調査期間	７月14日から９月11日まで
回答数	（※７月23日時点） 小中学生：11,642件 大人（高校生以上）：4,016件 合計：15,658件


新たな大田区基本構想の策定に向けたアンケートにご協力ください

2040年ごろまでの大田区の未来を描く基本構想をつくろうえでは、2040年に5人に1人となり、未来の大田区のまちづくりの主役となる若い世代の方々の考えがとても大切です！
みなさんのご意見をぜひお聞かせください！

Q1 あなたの学年を以下の中から1つ選び、✔をつけてください。
□小学5年生 □小学6年生 □中学1年生 □中学2年生 □中学3年生

Q2 ①今の大田区はどんなまちだと思いますか。
②2040年ごろの大田区はどんなまちにしたいですか。

あてはまるもの1つに✔ あてはまるものすべてに✔

まちの姿	①今の大田区 あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	②未来の大田区
子育てしやすいまち	□	□	□	□	□	□
こどもの安全が守られているまち	□	□	□	□	□	□
教育が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
みんなが基礎的な力、自分で考える力をもって生きることができるまち	□	□	□	□	□	□
高齢者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
みんながいつまでも活躍できるまち	□	□	□	□	□	□
障がい者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
一人一人の個性をおもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
困っている人を助け合うことができるなど、みんなが安心して暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
健康に暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
スポーツが気軽にできるまち	□	□	□	□	□	□
地震、台風、洪水などの災害に強いまち	□	□	□	□	□	□
新たな感染症など、どんな危険な状況になっても対応できる強いまち	□	□	□	□	□	□
犯罪や交通事故が少ないまち	□	□	□	□	□	□
社会生活の基本的なルールをみんなが守っているまち	□	□	□	□	□	□
電車やバスなどの交通が便利で移動しやすいまち	□	□	□	□	□	□
多くの人が集まり、元気のあるまち	□	□	□	□	□	□
水や緑と触れ合えるまち	□	□	□	□	□	□
休日をゆったり楽しんだりすることができる、公園などが多くあるまち	□	□	□	□	□	□
住んでいる地域の人たちのつながりが強く、みんなで協力しあえるまち	□	□	□	□	□	□
デジタル化が進んだ便利なまち	□	□	□	□	□	□
国や地域などが異なる人たちがお互いを理解し、おもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
工場や会社や商店などの産業・経済に活力があるまち	□	□	□	□	□	□
新しいビジネスやサービスが生まれるまち	□	□	□	□	□	□
文化や芸術が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
区外から多くの人が訪れるまち	□	□	□	□	□	□
区民がまちを自慢でき、愛する心を持てるまち	□	□	□	□	□	□
地球環境を守り、豊かな暮らしを受け継いでいくまち	□	□	□	□	□	□
みんなで環境にやさしい行動をとっているまち	□	□	□	□	□	□
他の国の人が、仕事や旅行などで訪れたくなる魅力あるまち	□	□	□	□	□	□

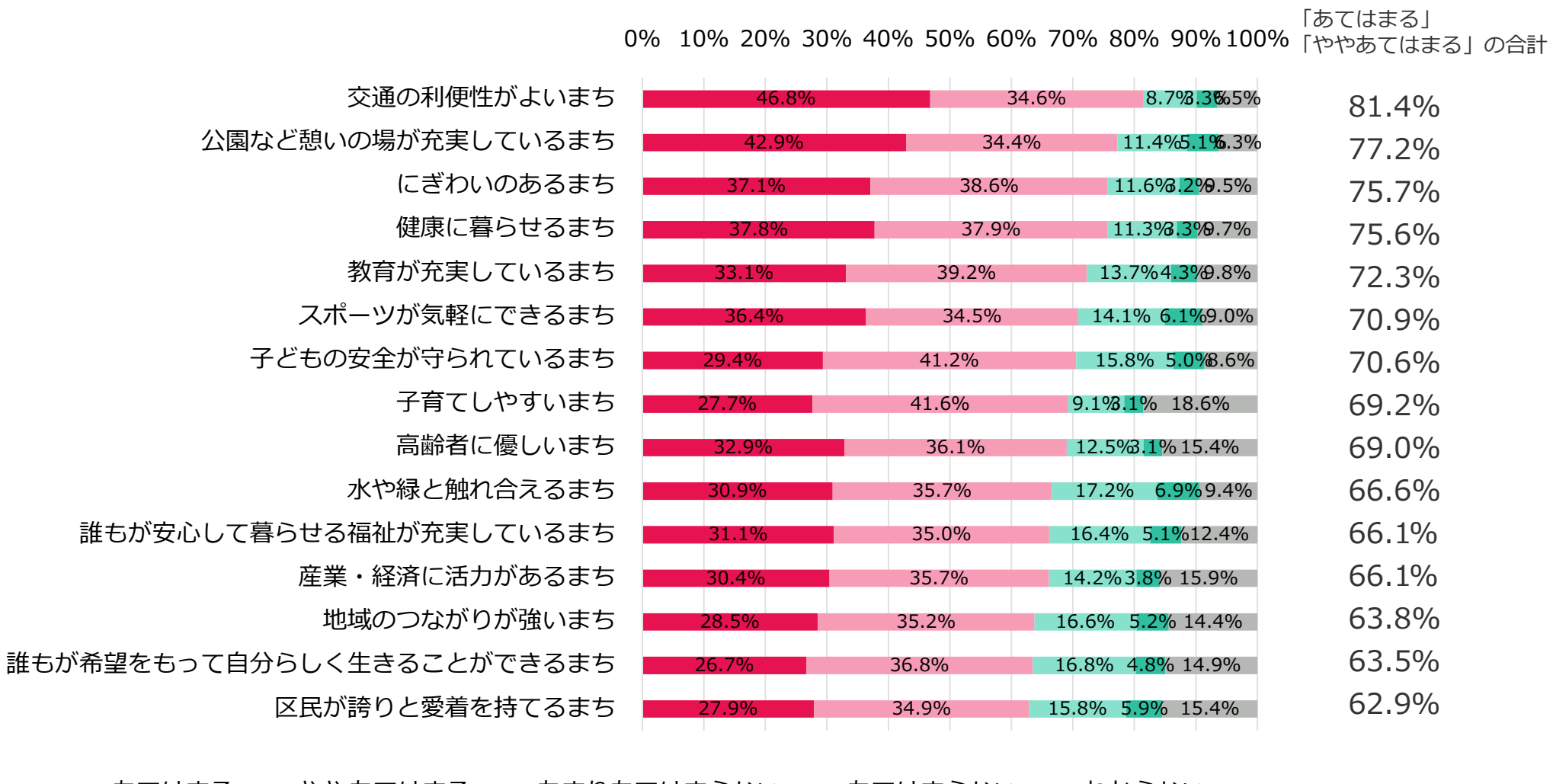
Q3 まちの未来の姿に関するご意見がありましたら、自由に記入してください。
※個人情報は記載しないようお願いします。

この調査についてのお問い合わせはこちら
大田区企画経営部企画課 調査・企画担当 ☎03-5744-1735

アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

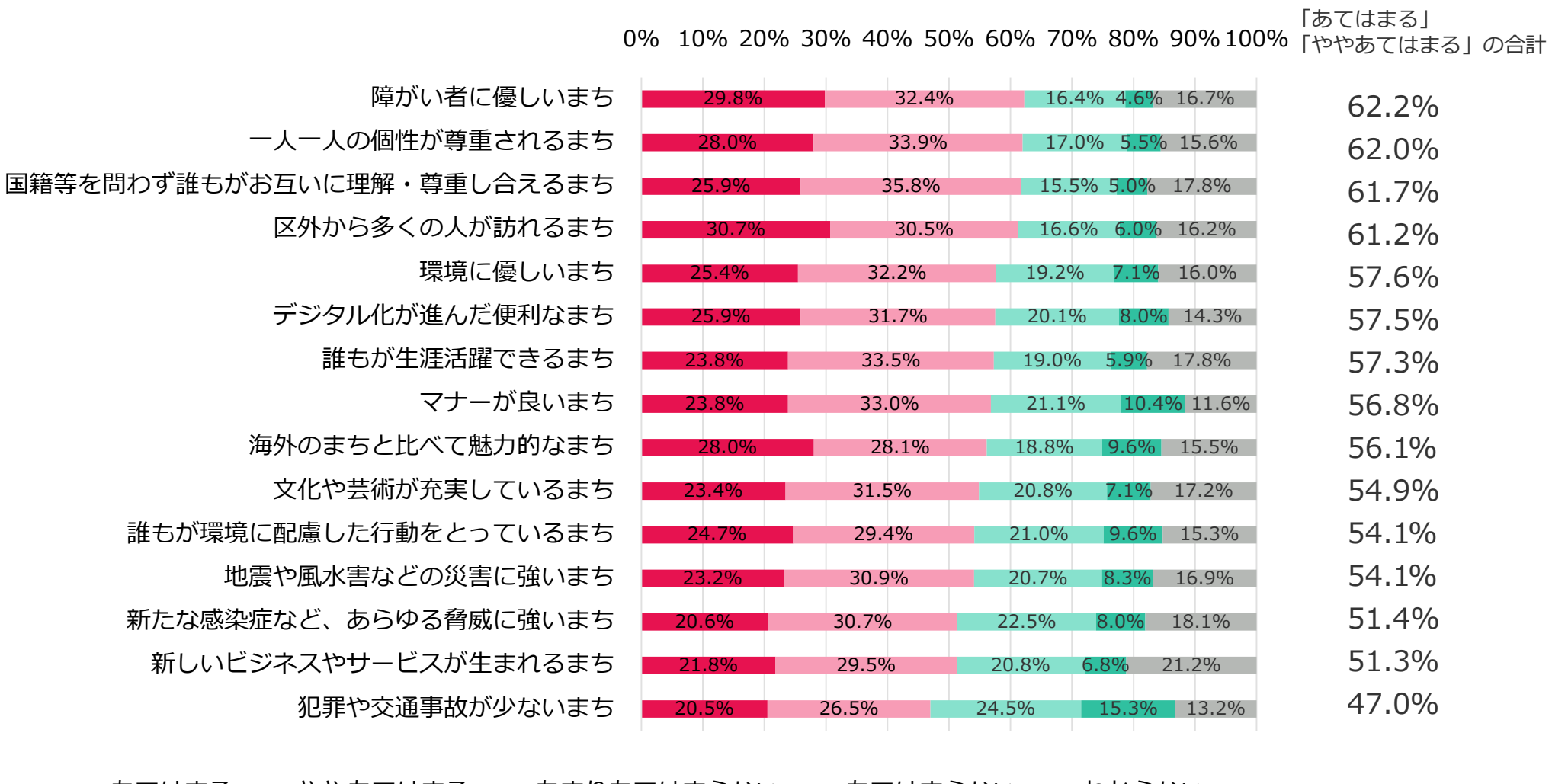
今の各まちの姿の結果①（上位15項目）



アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（下位15項目）



アンケートと新おおた重点プログラムの関係

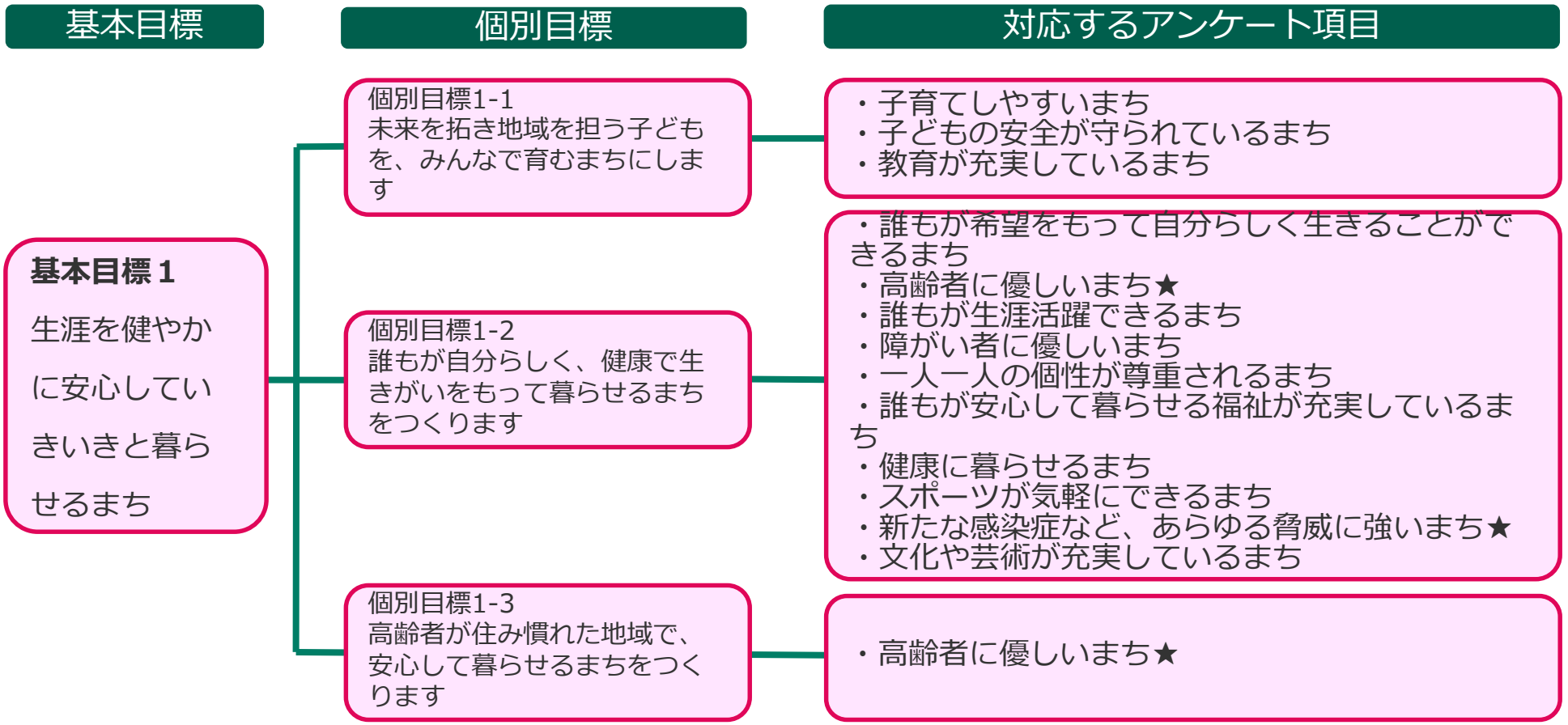
新重プロ施策番号	まちの姿
1-1-1 1-1-2	子育てしやすいまち
1-1-1	子どもの安全が守られているまち
1-1-3	教育が充実しているまち
1-2-2	誰もが希望をもって自分らしく生きることができるまち
1-2-2 1-3-1	高齢者に優しいまち
1-2-2 1-2-3	誰もが生涯活躍できるまち
1-2-2	障がい者に優しいまち
1-2-2	一人一人の個性が尊重されるまち
1-2-2	誰もが安心して暮らせる福祉が充実しているまち
1-2-1	健康に暮らせるまち
1-2-3	スポーツが気軽にできるまち
2-1-3 3-1-2	地震や風水害などの災害に強いまち
1-2-1 3-1-2	新たな感染症など、あらゆる脅威に強いまち
2-1-3 3-1-2	犯罪や交通事故が少ないまち
2-1-3	マナーが良いまち

新重プロ施策番号	まちの姿
2-1-1	交通の利便性がよいまち
2-1-1	にぎわいのあるまち
2-1-2	水や緑と触れ合えるまち
2-1-2	公園など憩いの場が充実しているまち
3-1-1 3-1-2	地域のつながりが強いまち
3-1-1 3-3-1	デジタル化が進んだ便利なまち
2-2-2	国籍等を問わず誰もがお互いに理解・尊重し合えるまち
2-3-1	産業・経済に活力があるまち
2-2-1 2-3-1	新しいビジネスやサービスが生まれるまち
1-2-3	文化や芸術が充実しているまち
2-3-2	区外から多くの人が訪れるまち
2-3-2	区民が誇りと愛着を持てるまち
3-2-1	環境に優しいまち
3-2-1	誰もが環境に配慮した行動をとっているまち
2-2-1 2-3-1	海外のまちと比べて魅力的なまち

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

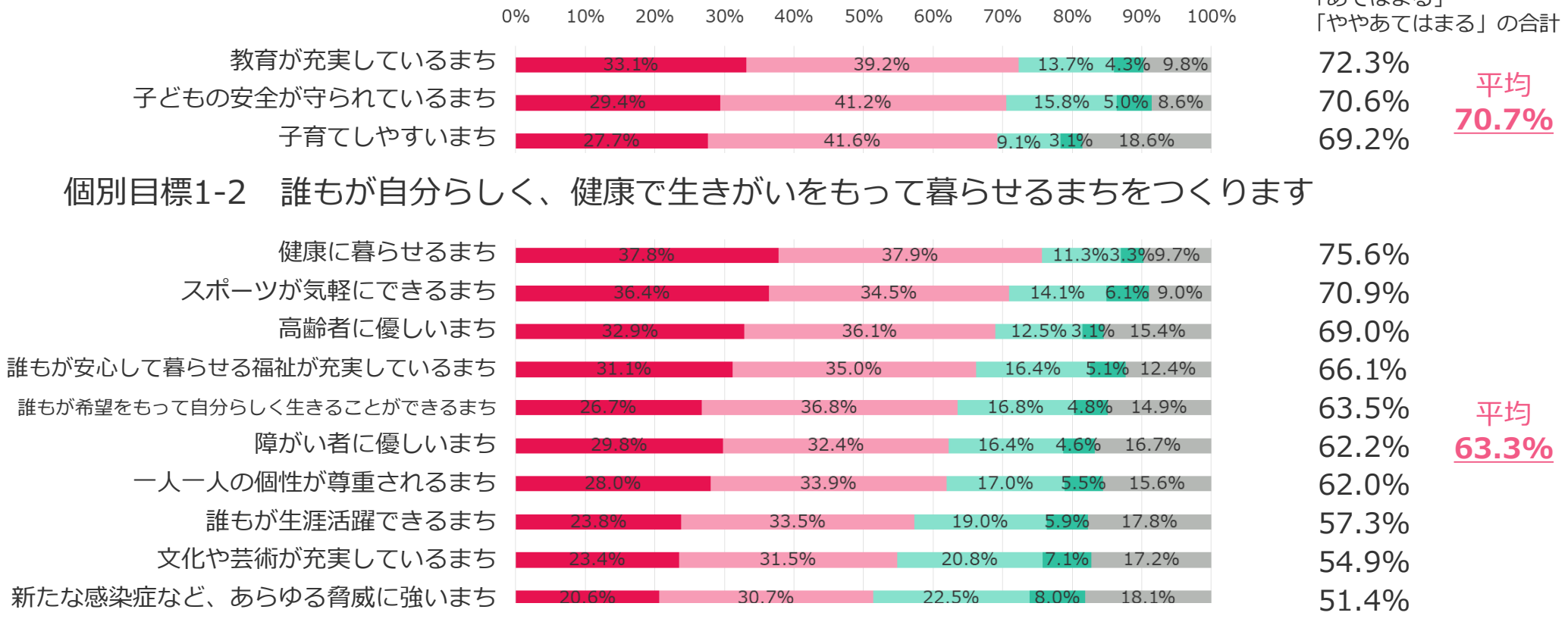


［凡例］★・・・複数の個別目標に対応するアンケート項目（再掲しているもの）

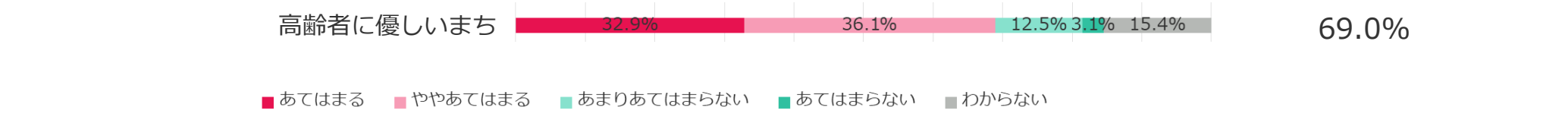
大田区基本構想　個別目標に関連するアンケート結果

基本目標１　生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

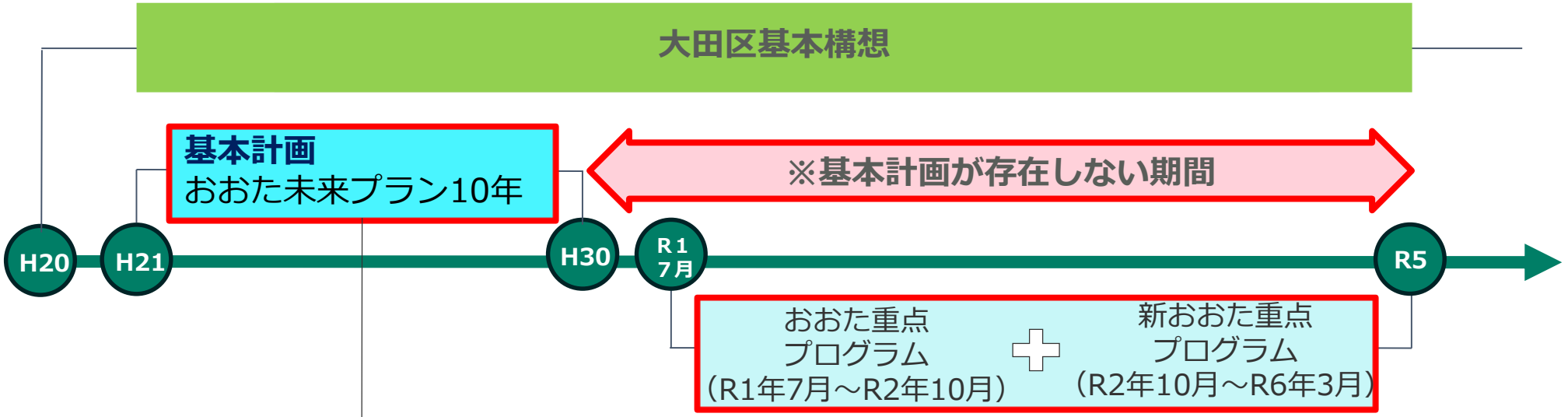
個別目標1-1　未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします



個別目標1-3　高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります



現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

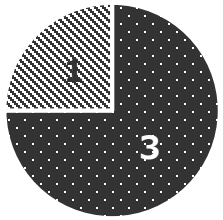
大田区基本構想　個別目標１－１

基本目標１　生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標1-1　未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

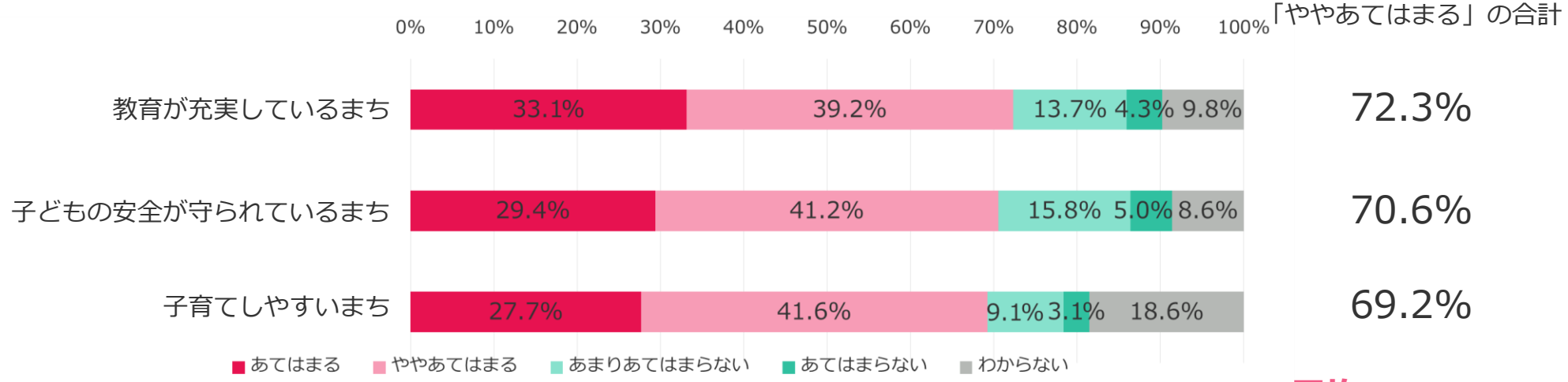


A（75%）　B（25%）

主な成果（概要）

- 妊産婦面接やすこやか赤ちゃん訪問をはじめとする保護者支援の充実を図った。
- 子育て相談体制や保育サービス定員の拡充を図った。
- 国際理解教育やICT環境整備を推進するとともに、不登校対策の充実を図った。

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



平均：70.7%

まとめ

将来像	基本目標	個別目標	おおた未来プラン 達成度評価 Aの割合	あてはまる・ややあてはまるの合計の平均
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	75%	70.7%
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	33.33%	63.3%
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	100%	69.0%
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	75%	65.5%
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	33.33%	56.4%
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	25%	59.5%
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	33.33%	54.8%
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が　両立する持続可能なまちをつくる担い手です	33.33%	55.9%
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	0%	57.5%

おおた未来プラン10年の振り返り

（防災/治安/公園・緑地/地域力に関連の強い部分）

おおた未来プラン10年（後期）における全体像

基本目標	個別目標	施策
基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性あふれる都市をつくります 2-1-2　快適な交通ネットワークをつくります 2-1-3　潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-4　安全で安心して暮らせるまちをつくります
	個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　世界へ羽ばたくまちをつくります 2-2-2　未来につながる空港臨海部をつくります 2-2-3　国際都市として交流を育みます
	個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　ものづくり産業を育み、世界に発信します 2-3-2　くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます 2-3-3　ビジネスがしやすいまち大田区をつくります 2-3-4　大田区の観光を世界に発信します

おおた未来プラン10年（後期）における全体像

基本目標	個別目標	施策
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力の土台づくりを進めます 3-1-2　地域力を活かした取り組みを進めます 3-1-3　誰もが暮らしやすい地域をつくります 3-1-4　地域文化の創造とふれあいづくりを進めます 3-1-5　地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます 3-1-6　地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます
	個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます 3-2-2　水と緑を感じるまちをつくります 3-2-3　ごみのない循環のまちをつくります
	個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　行政力を最大限に発揮できる体制をつくります 3-3-2　透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくります 3-3-3　地域力を支える区役所をつくります

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-1	1-1-1	妊娠11週以内に妊娠届出をした割合	94.1%	100%	94.1%
		すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率	92.4%	100%	92.4%
1-1	1-1-2	子育て環境に対する満足度	46.7%	50%	93.4%
		保育所入所率	98.4%	100%	98.4%
		保育サービス定員数（人）	15,338	12,443	123.3%
		ファミリーサポート延べ利用者数（人）	13,193	12,200	108.1%
1-1	1-1-3	大田区学習効果測定【中３数学、期待正答率を超えた生徒の割合】	64.5%	62%	104.0%
		不登校生徒出現率【中学校】	4.22%	2.88%	68.2%
		体力合計点【小６男女】	男子：60.31 女子：61.65	男子：61.01 女子：61.59	男子：98.9% 女子：100.1%
1-1	1-1-4	児童館ファミリールーム利用者数（人）	534,329	463,000	115.4%
		子ども家庭支援センターの相談件数	11,992	4,900	244.7%
1-2	1-2-1	65歳健康寿命(歳)　※最新値：H29	男性：82.28 女性：85.54	男性：82.26 女性：85.36	男性：100.0% 女性：100.2%
		特定健康診査受診率	36.6%	44%	83.2%
1-2	1-2-2	「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合	78.0%	80%	97.5%
		駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合★	46.4%	40%	116.0%
		だれでもトイレの設置割合	85.1%	95.9%	88.7%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-2	1-2-3	障害福祉サービス等利用者の満足度	61.8%　※H28	75%	82.4%
		就労支援ネットワークからの年間就職者（人）	119	90	132.2%
		だれでもトイレの設置割合★	85.1%	95.9%	88.7%
1-2	1-2-4	区民１人あたりの図書館の貸出点数	8.1	10.4	77.9%
		週１回以上スポーツ活動をしている区民の割合★	47.6%	65%	73.2%
		区民活動情報サイト登録数（団体）★	704	590	119.3%
		区民活動情報サイトへのアクセス件数★	46,670	36,580	127.6%
1-2	1-2-5	65歳健康寿命（歳）★　※最新値：H29	男性：82.28 女性：85.54	男性：82.26 女性：85.36	男性：100.0% 女性：100.2%
		週１回以上スポーツ活動をしている区民の割合	47.6%	65%	73.2%
1-2	1-2-6	職場における男女の地位が平等であると答えた区民の割合	男性：35.7% 女性：28.7%	男性：32% 女性：22%	男性：111.6% 女性：130.5%
		成年後見制度を知っている区民の割合★	32.6%	36%	90.6%
		子ども家庭支援センターの相談件数★	11,992	4,900	244.7%
1-3	1-3-1	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上75歳未満）の割合	95.47%	95.70%	99.8%
		ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合	18.3%	15%	122.0%
		何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の割合	37.4%	45%	83.1%
1-3	1-3-2	居宅サービス利用者のうちケアプランに満足している人の割合　※最新値：H28	67.0%	75%	89.3%
		地域包括支援センター（さわやかサポート）を知っている区民の割合	29.4%	40%	73.5%
		介護保険施設等の入所定員数（人）	3,209	3,300	97.2%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-3	1-3-3	災害時要援護者である高齢者を支援する組織が設置されている自治会・町会の割合	51%	50%	102.0%
		成年後見制度を知っている区民の割合	32.6%	36%	90.6%
2-1	2-1-1	区内人口の社会増減率（%）（H20.1.1基準）	44.68	18	248.2%
		住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合	66.6%	64%	104.1%
2-1	2-1-2	区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合	72.8%	80%	91.0%
		放置自転車台数	1,177	2,280	193.7%
2-1	2-1-3	身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合	50.0%	60%	83.3%
		「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合★	58.6%	63%	93.0%
		公園の新設、拡張整備面積累計（ha）	15.16	13.2	114.8%
2-1	2-1-4	大田区内の耐震化率	89.0%（参考値）	90%超	98.9%
		駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合	46.4%	40%	116.0%
		東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における不燃領域率　※最新値（参考値）：H29	大森中：64.8% 羽田：50.8% 西蒲田：65.9%	大森中：70%超 羽田：60%超 西蒲田：70%超	大森中：92.6% 羽田：84.7% 西蒲田：94.1%
		「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合★	78.0%	80%	97.5%
2-2	2-2-1	臨海部に立地する事業所数★　※最新値：H28	2,231	2,300	97.0%
		羽田空港及び空港跡地が地域経済の発展に貢献すると感じる区民の割合	51.9%	55%	94.4%
		空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合★	27.2%	40%	68.0%
		羽田空港跡地第１ゾーンの整備進捗率	80%	80%	100.0%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
2-2	2-2-2	臨海部（平和島・昭和島・京浜島・東海・城南島・羽田空港）に立地する事業所数　※最新値：H28	2,231	2,300	97.0%
		空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合★	27.2%	40%	68.0%
2-2	2-2-3	大田区の外国人延べ宿泊者数（万人）	34.9	15	232.7%
		国際交流団体の登録数	56	78	71.8%
		大田観光協会ホームページの年間アクセス件数（ページビュー数）（万件）★	127	180	70.6%
2-3	2-3-1	製造品出荷額等（億円）　※最新値：H28	4,019	5,000	80.4%
		新製品・新技術開発助成（実用化・製品化助成）を受けた企業のうち展示会出展または取引につながった企業の割合	95.65%	100%	95.7%
		大田区内の従業者数（人）★　※最新値：H28	349,551	361,000	96.8%
		新設事業所数（累計）★　※最新値：H28	4,930	6,180	79.8%
2-3	2-3-2	区内小売業の年間商品販売額（億円）　※最新値：H28	6,826	5,230	130.5%
2-3	2-3-3	大田区内の従業者数（人）　※最新値：H28	349,551	361,000	96.8%
		新設事業所数（累計）　※最新値：H28	4,930	6,180	79.8%
2-3	2-3-4	区内宿泊施設の宿泊者数（万人） ①延宿泊者数、②そのうち外国人	①143.0 ②34.9	①130 ②15	①110.0% ②232.7%
		大田区観光協会ホームページの年間アクセス数（ページビュー数）（万件）	127	180	70.6%
3-1	3-1-1	「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合	71.7%	75%	95.6%
		大田区区民活動情報サイト登録数（団体）	704	590	119.3%
		大田区区民活動情報サイトへのアクセス件数	46,670	36,580	127.6%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-1	3-1-2	自治会・町会や団体・NPOが区の取組みにより他の団体等と連携して実施した事業数	52	52	100.0%
		自治会・町会への加入率	65.8%	76%	86.6%
		「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合★	71.7%	75%	95.6%
		大田区区民活動情報サイト登録数（団体）★	704	590	119.3%
		大田区区民活動情報サイトへのアクセス件数★	46,670	36,580	127.6%
3-1	3-1-3	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合	76.4%	87%	87.8%
		国際交流団体の登録数（団体）★	56	78	71.8%
		ボランティア活動に参加している区民の割合	17.4%	10%	174.0%
		大田区の外国人延べ宿泊者数（万人）★	34.9	15	232.7%
3-1	3-1-4	大田区の主な文化関連施設の利用・入場者数（万人）（延べ）	126	174	72.4%
		大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出典した人数（延べ）	15,014	13,600	110.4%
3-1	3-1-5	防災市民組織が設置されている自治会・町会の割合	99.0%	100%	99.0%
		東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における不燃領域率★　※最新値（参考値）：H29	大森中：64.8% 羽田：50.8% 西蒲田：65.9%	大森中：70%超 羽田：60%超 西蒲田：70%超	大森中：92.6% 羽田：84.7% 西蒲田：94.1%
		大田区内の耐震化率★	89.0%（参考値）	90%超	98.9%
		学校防災活動拠点校整備数（校）	91	91	100.0%
		区民安全・安心メール登録者数（人）★	71,261	60,000	118.8%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-1	3-1-6	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合★	76.4%	87%	87.8%
		ボランティア活動に参加している区民の割合★	17.4%	10%	174.0%
		区民安全・安心メール登録者数（人）	71,261	60,000	118.8%
		地域安全・安心パトロール助成団体数	292	315	92.7%
		街頭防犯カメラ整備数	地区：81 台数：1,134	地区：30 台数：600	地区：270.0% 台数：189.0%
3-2	3-2-1	大田区の二酸化炭素排出量(千ｔ/年)	3,027	2,322	76.7%
		大田区のエネルギー消費量(ＴＪ/年)	31,679	31,799	100.4%
		太陽光発電設置実績件数	3,995	3,000	133.2%
3-2	3-2-2	緑被率	18.3%	20.9%	87.7%
		「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合	58.6%	63%	93.0%
		身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合★	50.0%	60%	83.3%
		呑川のＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）	島畑橋：2.9mg/Ｌ 谷築橋：1.4mg/Ｌ 旭橋：2.0mg/Ｌ	環境基準 8mg/Ｌ以下	畑橋：275.9% 谷築橋：571.4% 旭橋：400.0%
		公園の新設、拡張整備面積累計（ha）★	15.16	13.2	114.8%
3-2	3-2-3	区収集ごみ量（万ｔ）	13.2	12.2	92.4%
		リサイクル率	22.2%	30%	74.0%

目標値一覧（モノサシ指標）

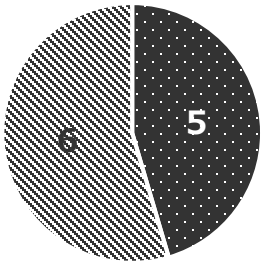
個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-3	3-3-1	経常収支比率	83.1%	80%	96.3%
		基本計画で設定したモノサシ（指標）の目標に到達した割合	44.2%	100%	44.2%
3-3	3-3-2	「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合	32.6%	46%	70.9%
3-3	3-3-3	地域活動にインターネットを活用している自治会・町会の割合	23.5%	50%	47.0%
		自治会・町会や団体・NPOが区の取組みにより他の団体等と連携して実施した事業数★	52	52	100.0%
		自治会・町会への加入率★	65.8%	76%	86.6%
		地域力推進委員会分科会の開催回数	185	125	148.0%

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)



■ A（45.45%）　▨ B（54.55%）

	個別目標2-1	個別目標2-2	個別目標2-3
Aの件数	3	1	1
Bの件数	1	2	3
Aの割合	**75%**	**33.33%**	**25%**

基本目標２の施策の評価

1-1　魅力と個性あふれる都市をつくります：A
1-2　快適な交通ネットワークをつくります：A
1-3　潤いとやすらぎのあるまちをつくります：B
1-4　安全と安心して暮らせるまちをつくります：A

主な成果（概要）

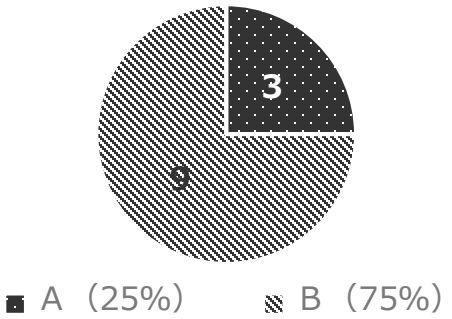
●公園・緑地の新設・拡張等により、多様な世代が利用できる公園づくりが進んだ。
●橋梁の耐震整備により、災害時の避難路、緊急輸送道路としての機能確保が図られた。

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち



	個別目標3-1	個別目標3-2	個別目標3-3
Aの件数	2	1	0
Bの件数	4	2	3
Aの割合	**33.33%**	**33.33%**	**0%**

基本目標３の施策の評価

1-1　地域力の土台づくりを進めます：B
1-2　地域力を活かした取り組みを進めます：B
1-3　誰もが暮らしやすい地域をつくります：B
1-4　地域文化の創造とふれあいづくりを進めます：B
1-5　地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます：A
1-6　地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます：A
2-1　地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます：B
2-2　水と緑を感じるまちをつくります：A
2-3　ごみのない循環のまちをつくります：A

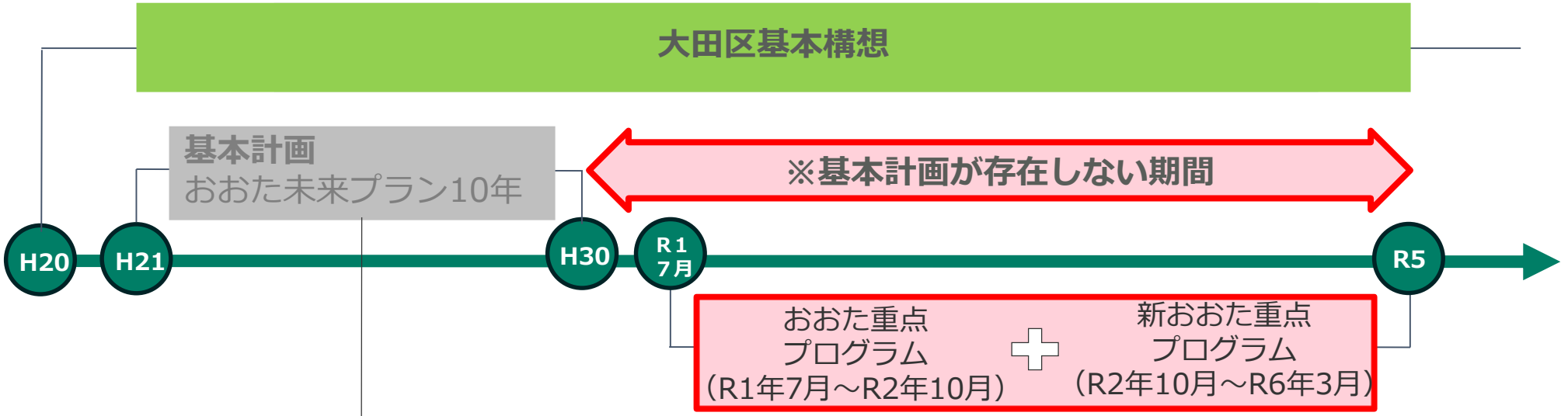
主な成果（概要）

- 自治会・町会への支援としてチラシやwebでの申込受付により加入促進に努めた。
- 学校防災活動拠点や要配慮者支援組織など、災害時に備えた体制を強化した。
- 区民安全・安心メールや防犯イベントなどにより、防犯意識向上に寄与した。

新おおた重点プログラムの振り返り

（防災/治安/公園・緑地/地域力に関連の強い部分）

現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

新おおた重点プログラムの全体像

将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策１-２-３

学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります

No.	事業名
1	生涯学習の推進（個人の学びの充実、生涯学習情報誌等の発行　等）
2	図書館を活用した学習環境の整備・展開（電子図書館（電子書籍貸し出し）サービス事業　等）
3	地域の歴史・文化資源の活用（勝海舟記念館・郷土博物館他の運営、文化振興協会との連携　等）
4	スポーツ施設の整備・充実（大規模運動施設・体育施設の整備　等）
5	区民のスポーツ実施率を上げる環境整備（気軽に取り組めるスポーツ情報の発信　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策２-１-２

身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります

No.	事業名
1	大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進 （（仮称）大田区グリーンインフラ事業計画の策定　等）
2	拠点公園・緑地の整備（拠点公園の再整備、地域の拠点となる公園・緑地の創出　等）
3	地域に根ざした公園・緑地の整備（健康支援公園の整備推進、子育て支援公園の整備推進　等）
4	地域力を活かしたみんなのみどりづくり（ふれあいパーク活動の推進、おおた花街道の推進　等）
5	呑川水質浄化対策の推進（東京都や流域自治体と連携した総合的な水質浄化対策の検討・研究　等）
6	散策路の整備（呑川緑道、桜のプロムナード、海辺の散策路　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策２-１-３

災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります

No.	事業名
1	倒れないまちづくりの推進（耐震化の促進　等）
2	燃えないまちづくりの推進（不燃化の促進　等）
3	がけ崩れ災害の防止（がけ等整備工事助成、がけ等アドバイザー派遣　等）
4	地域の道路整備（狭あい道路拡幅整備事業の推進、私道助成事業の推進　等）
5	大田区住宅マスタープランの推進（空家等対策の推進、住宅確保要配慮者への支援　等）
6	無電柱化の推進（無電柱化の整備　等）
7	橋梁の耐震性の向上（架替え整備、耐震補強整備　等）
8	都市基盤施設の維持管理の推進（橋梁の補修、道路の維持管理　等）
9	交通安全の推進（ルール・マナーの教育・啓発、交通安全環境の整備　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策３-１-１

地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります

No.	事業名
1	区民協働の推進（区民活動の啓発、連携・協働推進のための人材育成　等）
2	持続可能な地域づくりの推進 （持続可能な地域コミュニティの形成支援、人と地域に優しいデジタル化の推進　等）
3	多文化共生の推進（多様性に配慮した多言語相談・情報提供の推進、日本語学習の支援　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策３-１-２

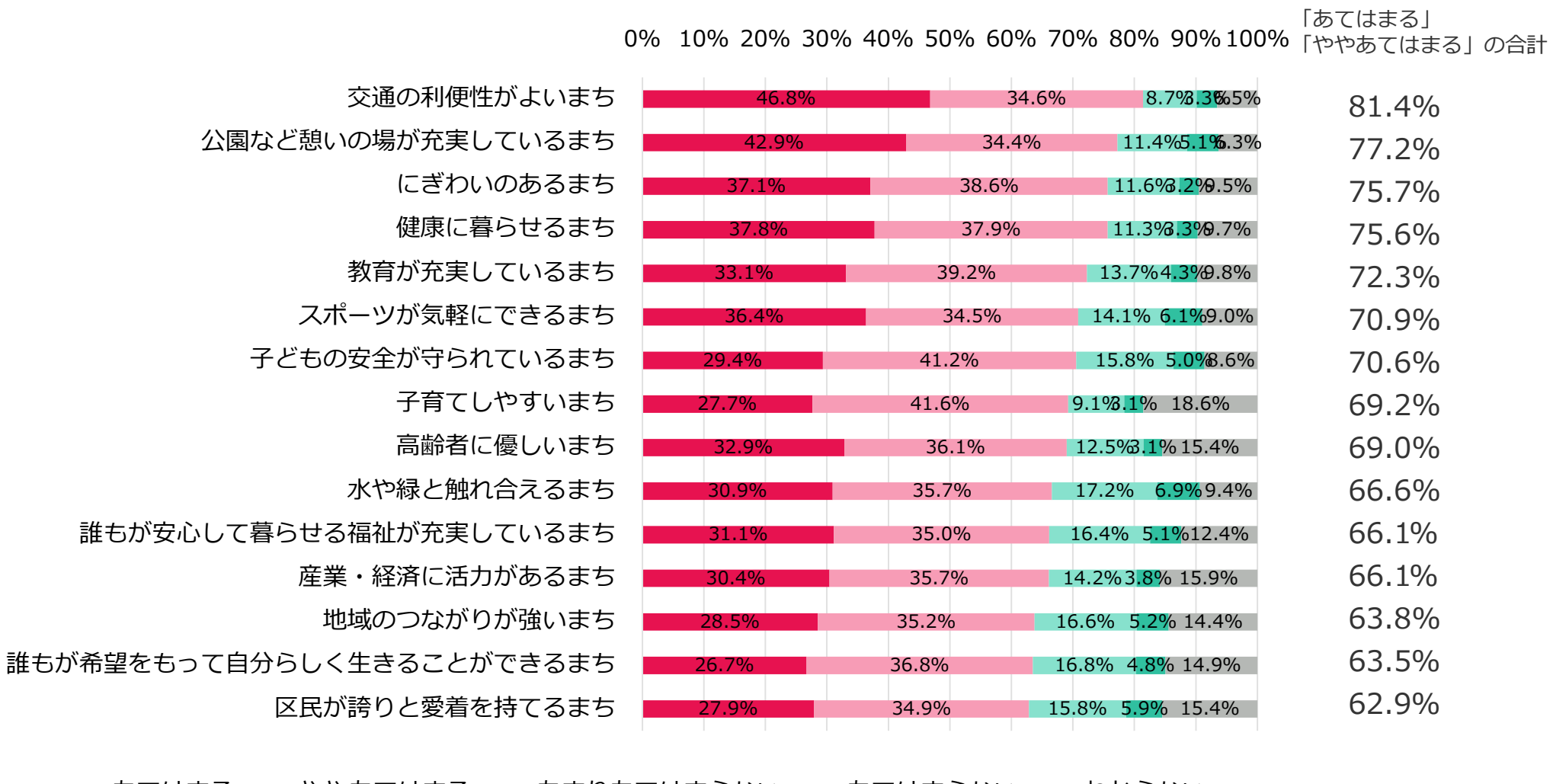
地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります

No.	事業名
1	災害時相互支援体制の整備（支援者の確保、災害時用配慮者及び避難行動要支援者支援計画　等）
2	災害ボランティアの育成・支援（災害ボランティアセンター運営訓練の実施　等）
3	災害への備えの充実（災害用非常食糧の確保・充実、備蓄体制の強化　等）
4	避難場所等の拡充（安全安心な避難場所の確保　等）
5	災害時医療体制の整備と周知（緊急医療救護所及び軽症者救護所開設・運営訓練実施　等）
6	地域防犯活動の支援（街頭防犯カメラの設置支援、地域安全・安心パトロールの支援　等）
7	防犯啓発活動（高齢者の犯罪被害防止対策の推進、自転車盗難防止啓発活動　等）
8	大規模自然災害対策（区役所の災害対応力の向上、主体的な防災活動を促すための支援　等）

アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

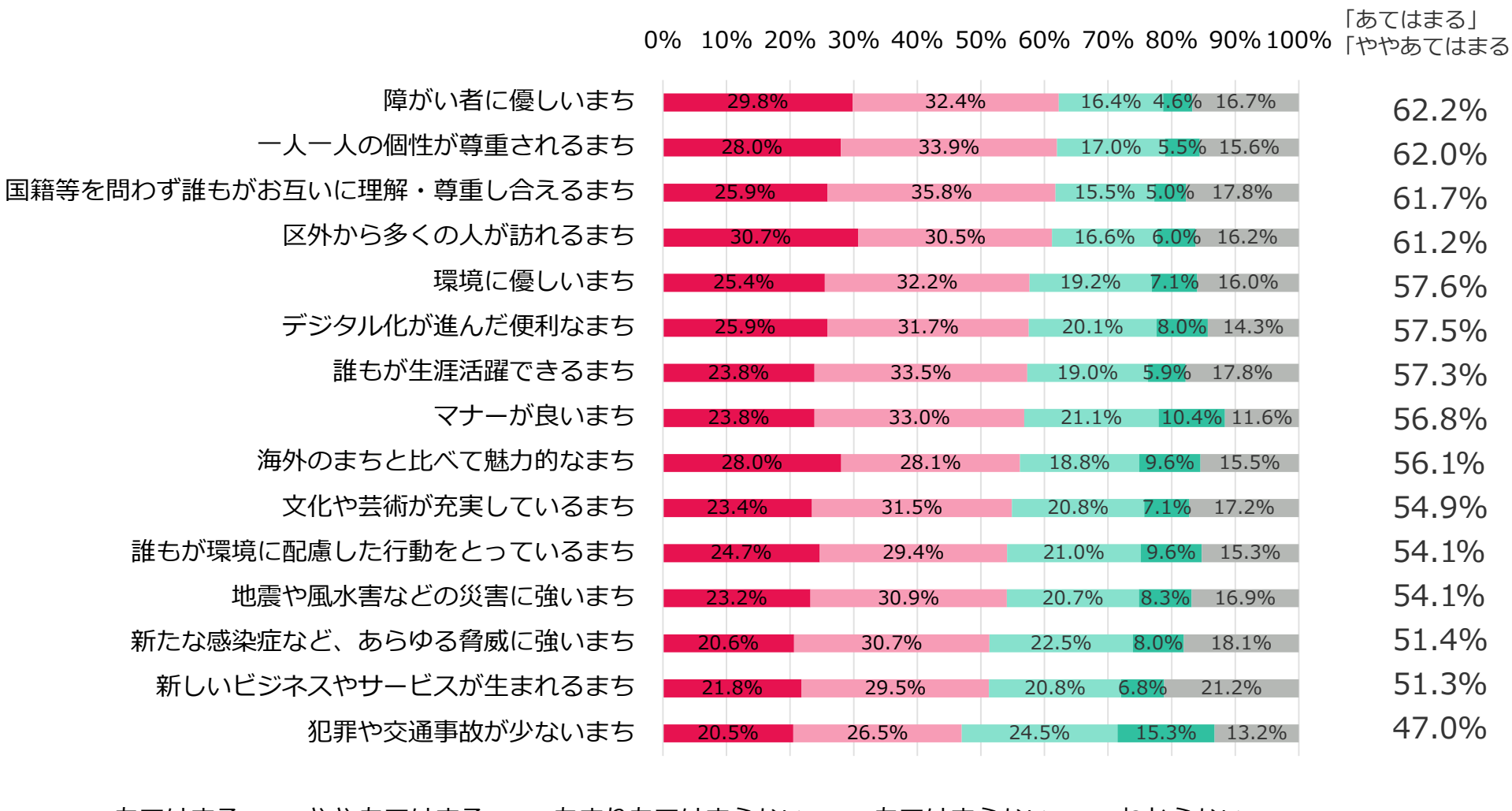
今の各まちの姿の結果①（上位15項目）



アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（下位15項目）



アンケートと新おおた重点プログラムの関係

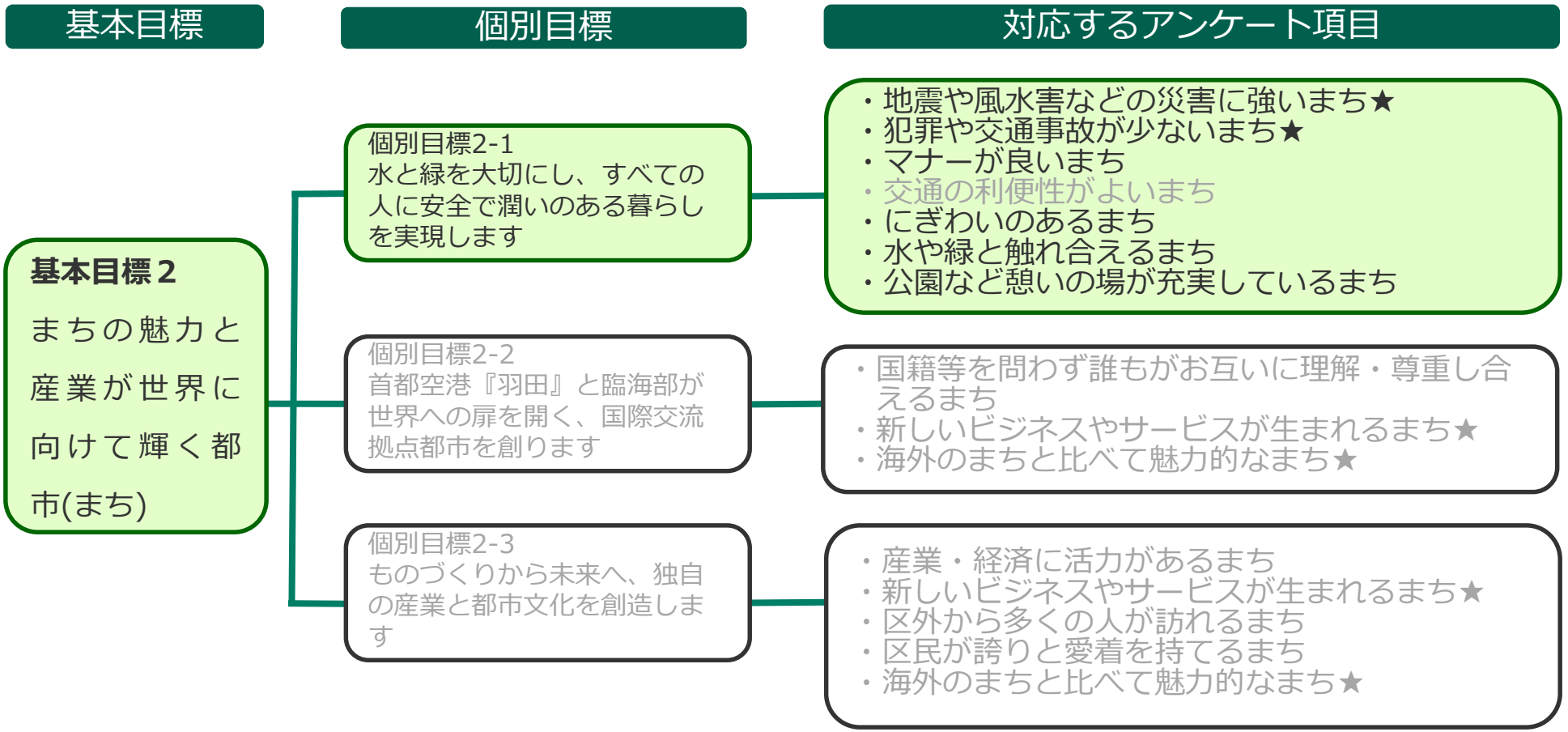
新重プロ施策番号	まちの姿
1-1-1 1-1-2	子育てしやすいまち
1-1-1	子どもの安全が守られているまち
1-1-3	教育が充実しているまち
1-2-2	誰もが希望をもって自分らしく生きることができるまち
1-2-2 1-3-1	高齢者に優しいまち
1-2-2 1-2-3	誰もが生涯活躍できるまち
1-2-2	障がい者に優しいまち
1-2-2	一人一人の個性が尊重されるまち
1-2-2	誰もが安心して暮らせる福祉が充実しているまち
1-2-1	健康に暮らせるまち
1-2-3	スポーツが気軽にできるまち
2-1-3 3-1-2	地震や風水害などの災害に強いまち
1-2-1 3-1-2	新たな感染症など、あらゆる脅威に強いまち
2-1-3 3-1-2	犯罪や交通事故が少ないまち
2-1-3	マナーが良いまち

新重プロ施策番号	まちの姿
2-1-1	交通の利便性がよいまち
2-1-1	にぎわいのあるまち
2-1-2	水や緑と触れ合えるまち
2-1-2	公園など憩いの場が充実しているまち
3-1-1 3-1-2	地域のつながりが強いまち
3-1-1 3-3-1	デジタル化が進んだ便利なまち
2-2-2	国籍等を問わず誰もがお互いに理解・尊重し合えるまち
2-3-1	産業・経済に活力があるまち
2-2-1 2-3-1	新しいビジネスやサービスが生まれるまち
1-2-3	文化や芸術が充実しているまち
2-3-2	区外から多くの人が訪れるまち
2-3-2	区民が誇りと愛着を持てるまち
3-2-1	環境に優しいまち
3-2-1	誰もが環境に配慮した行動をとっているまち
2-2-1 2-3-1	海外のまちと比べて魅力的なまち

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

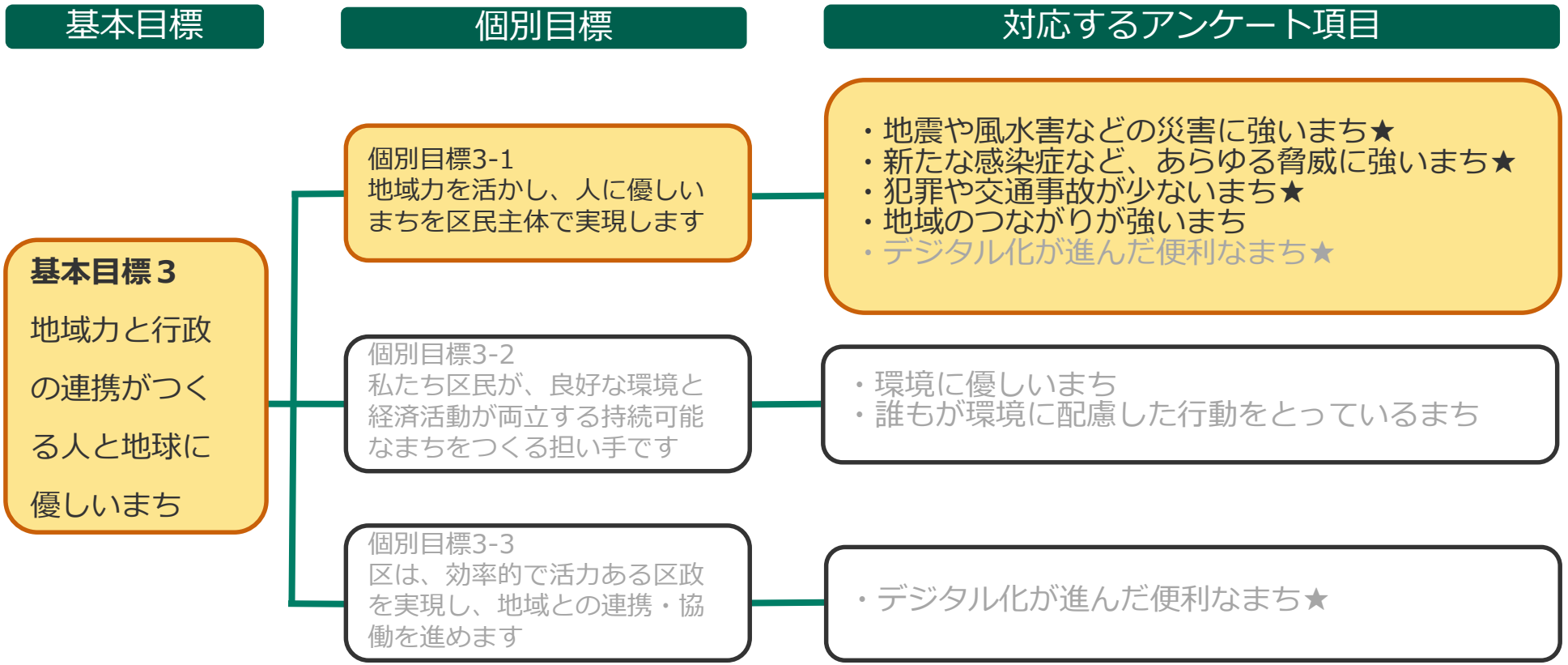
将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

アンケートと新おおた重点プログラムの関係



［凡例］★・・・複数の個別目標に対応するアンケート項目（再掲しているもの）

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

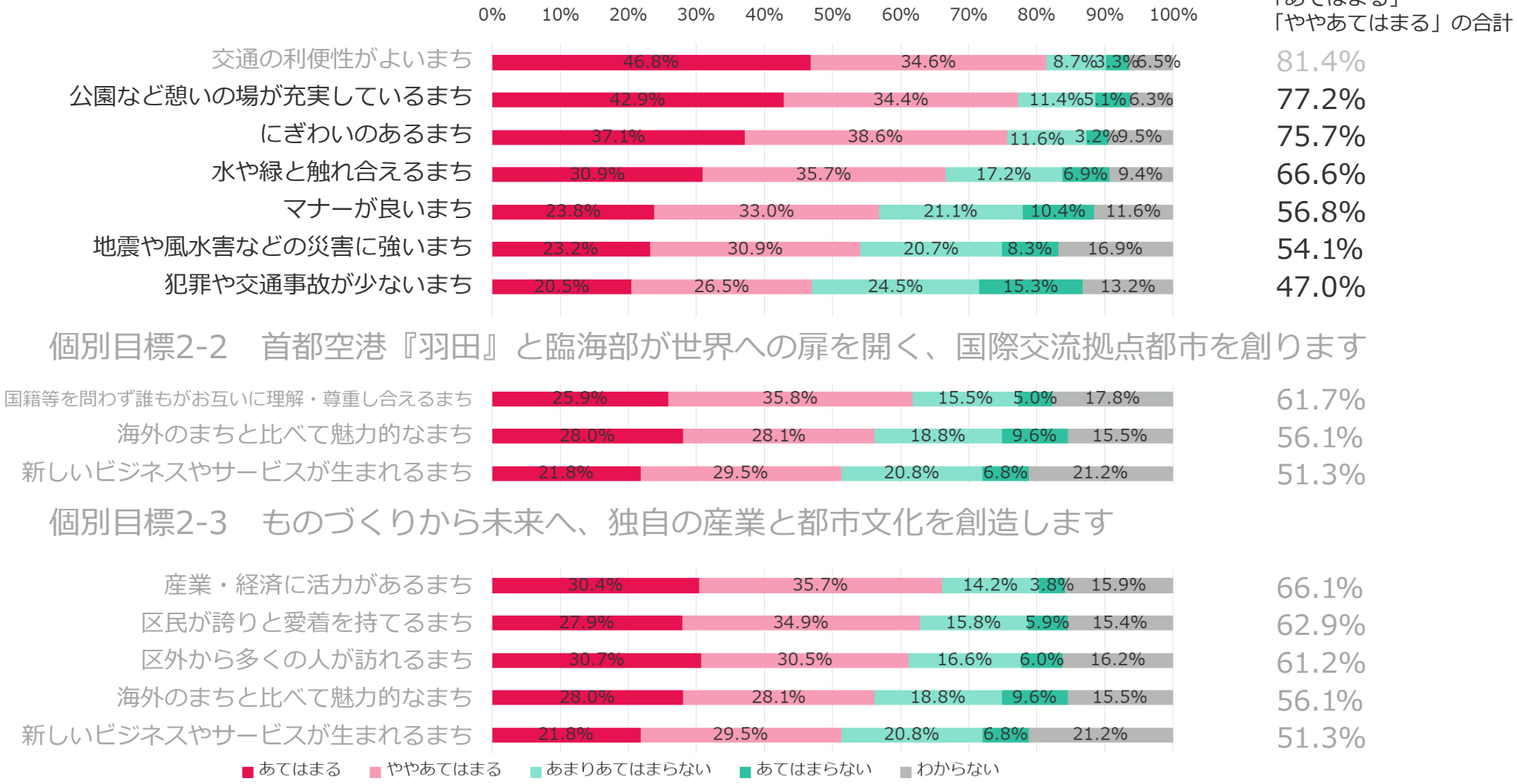


［凡例］★・・・複数の個別目標に対応するアンケート項目（再掲しているもの）

大田区基本構想　個別目標に関連するアンケート結果

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)

個別目標2-1　水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します



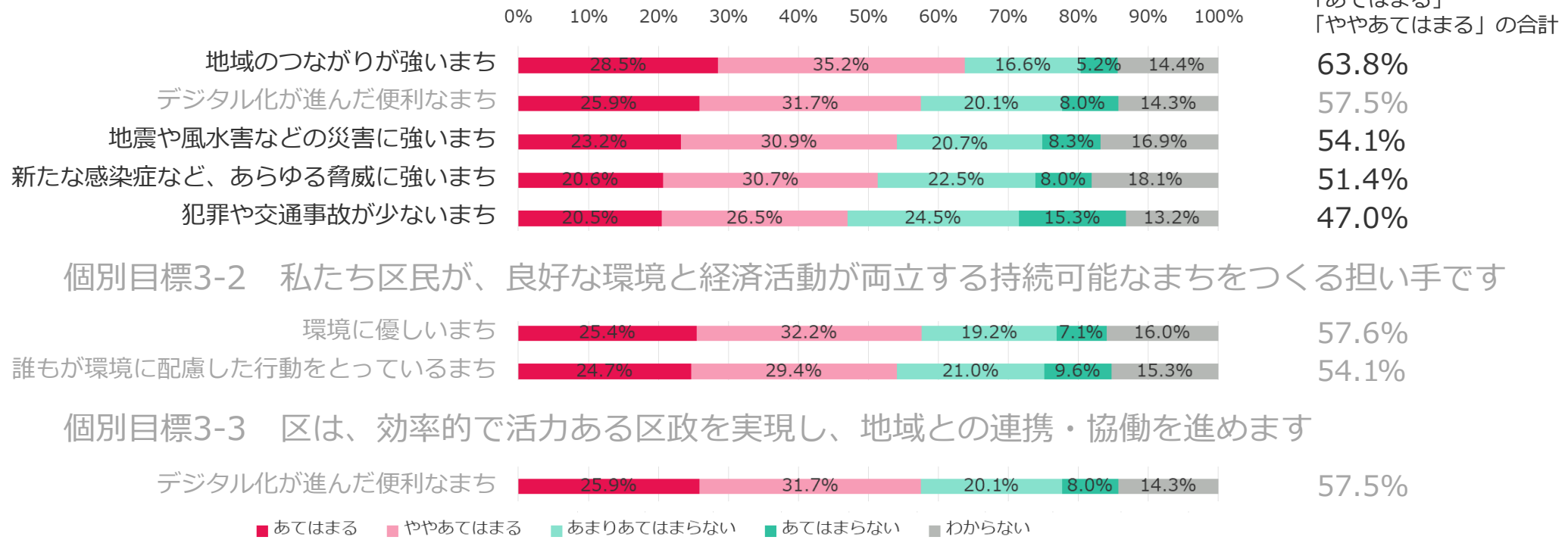
個別目標2-2　首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

個別目標2-3　ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

大田区基本構想　個別目標に関連するアンケート結果

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

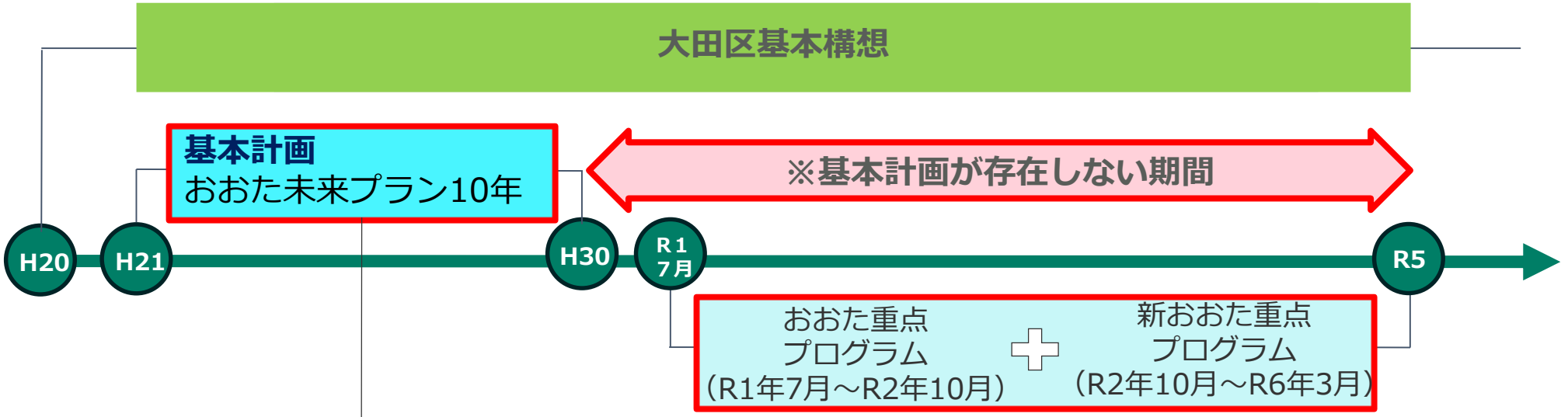
個別目標3-1　地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します



個別目標3-2　私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です

個別目標3-3　区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

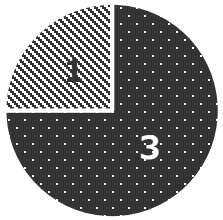
大田区基本構想　個別目標２－１

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)

個別目標2-1　水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

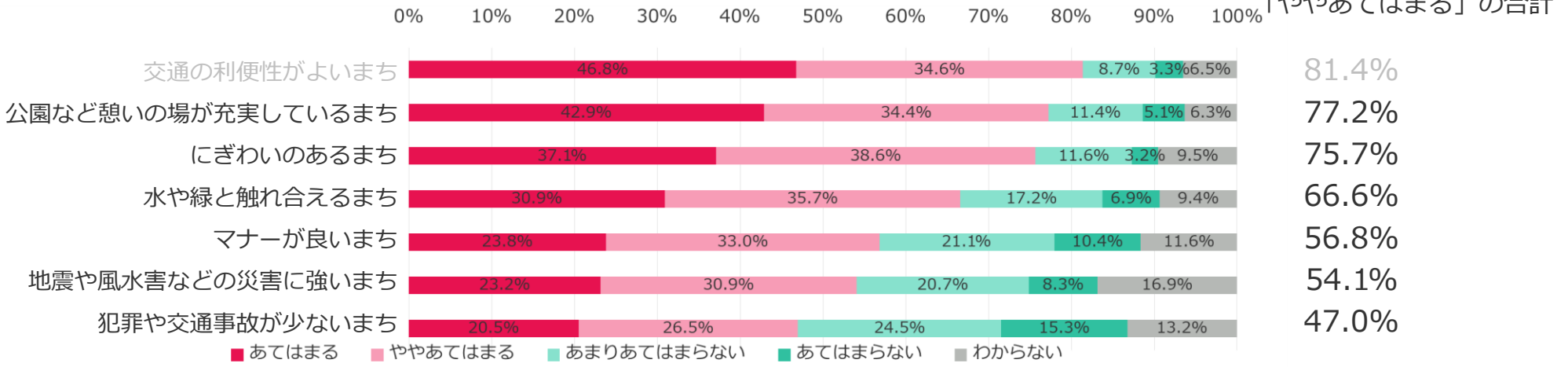


■ A（75%）　■ B（25%）

施策の評価

2-1-1　魅力と個性あふれる都市をつくります：A
2-1-2　快適な交通ネットワークをつくります：A
2-1-3　潤いとやすらぎのあるまちをつくります：B
2-1-4　安全と安心して暮らせるまちをつくります：A

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



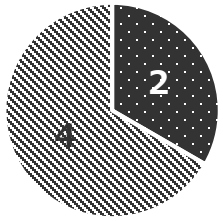
大田区基本構想　個別目標３－１

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

個別目標3-1　地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

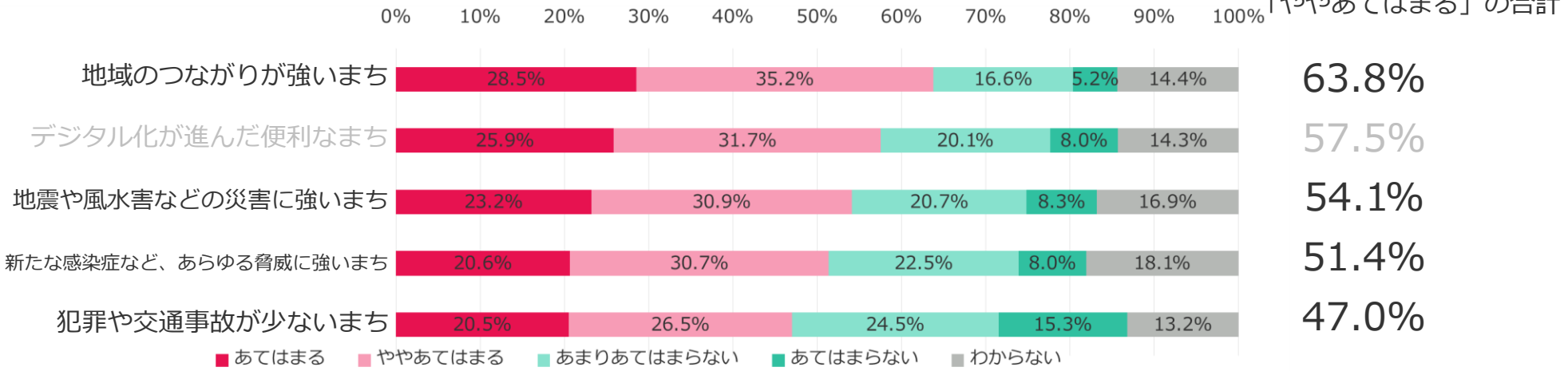


A（33.33%）　B（66.67%）

施策の評価

3-1-1　地域力の土台づくりを進めます：B
3-1-2　地域力を活かした取り組みを進めます：B
3-1-3　誰もが暮らしやすい地域をつくります：B
3-1-4　地域文化の創造とふれあいづくりを進めます：B
3-1-5　地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます：A
3-1-6　地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます：A

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



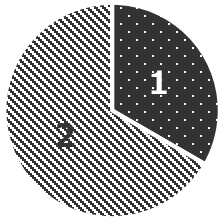
大田区基本構想　個別目標３－２

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

個別目標3-2　私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり



A（33.33%）　B（66.67%）

施策の評価

3-2-1　地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます：B
3-2-2　水と緑を感じるまちをつくります：A
3-2-3　ごみのない循環のまちをつくります：A

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）

